

豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会
会議録

日時：平成 30 年 7 月 24 日（火） 14：00～16：20

会場：豊明市役所 会議室 3

出席者

あいち尾東農業協同組合 岡本委員、豊明市商工会 酒井委員、名古屋鉄道株式会社 豊田委員、経済産業省中部経済産業局 彦坂委員、愛知県政策企画局 竹澤委員(代理 浅田氏)、学校法人藤田学園 星長委員(代理 都築氏)、学校法人桜花学園 根尾委員、連合愛知尾張東地域協議会 佐藤委員、株式会社中日新聞中日スポーツ総局 田畑委員、市民公募 光岡委員
合計 10 名

〈配布資料確認〉

1. 挨拶（小浮市長）

2. 委嘱状交付、委員長選任、審議会の公開について

(1) 委嘱状交付、委員長選任等

ア. 委嘱状交付（小浮市長）

委員を代表し、岡本委員へ交付し、その他委員へは机上配布とした。
任期は前回の任期を引継ぎ、平成 30 年 6 月 30 日より 3 年間である。

〈各委員 自己紹介〉

〈職員 自己紹介〉

イ. 委員長の選任

酒井委員からの推薦により、桜花学園大学根尾委員に決定した。
また、職務代理は委員長の指名により豊明市商工会 酒井委員に決定した。

〈委員長 挨拶〉

(2) 審議会の公開について

ア. 審議会の公開について

〈事務局 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の公開に関する取扱い要領を説明〉

取扱い要領に基づき、委員会開催時の傍聴者数を 10 名と決定した。
本日は傍聴希望者なしのため、傍聴者なしで委員会を開催する。

3. 議題

議題 3 については (1) から (5) について全体の概要を説明した後、3 つの管理対象である管理 1「まち・ひと・しごと創生総合戦略」関係事業 主な事業、管理 2「地方創生推進交付金（とよあけ花マルシェ事業）」、管理 3「地方創生推進交付金（エキカツ事業）」についての詳細を説明した。

(1) 総合戦略の役割と位置づけ

資料 1 頁「総合戦略の役割と位置づけ」についての説明を行った。

(2) 総合戦略の進行管理

資料 1 頁「総合戦略の進行管理」についての説明を行った。

(3) 事業の展開状況

資料 2 頁「事業の展開状況」についての説明を行った。

(4) 今後について

資料 2 頁「今後について」の説明を行った。

任期は前任期を引継ぎ、平成 30 年 6 月 30 日より 3 年間とする。

(5) H32 以降の次期総合戦略

資料 2 頁「H32 以降の次期総合戦略」についての説明を行った。

現在の総合戦略は平成 31 年度までとなっており、平成 32 年度からの次期総合戦略の策定に備える必要がある。ただし、平成 32 年度以降の総合戦略について国から市町村に対しての指針は現時点では示されていない。

<意見・質問>

(田畑委員)

・KPI とは具体的にどのようなものを指すのですか。

(回答)

KPI とは重要業績評価指標といわれるもので、目標値を設定し効果検証をおこなうものであり、内閣府の地方創生推進交付金においても設定されています。

(酒井委員)

・オンデマンドライドシェア事業とはどういったものですか。

(回答)

本日 7 月 24 日より実証実験がスタートした公共交通事業です。

現在の公共交通（ひまわりバス）でカバーできない地域を、カバーするものであり、仕組みとして協賛者を募集し協賛金企業をライドスポットとして 1 乗車 200 円で乗り合い送迎サービスを行う事業です。

(根尾委員)

- ・全国初の取組みですか。

(回答)

全国初の事業であり、乗車費用の適正価格等の選定も含めて本日から実証実験がスタートしました。

(佐藤委員)

- ・御用聞き制度についてどのような企業が対象であったか等について詳細を教えてください。

(回答)

地域活性化推進室が毎年夏頃に30社程度の工業系事業者様を訪問し、企業様の状況をお伺いするとともに、市の支援制度の説明をする取組みです。

(豊田委員)

- ・総合戦略関連の主な事業においてKPIを設定しているが、目標値を既に到達しているものについて目標値の修正等は検討していますか。

(回答)

現在の総合戦略が平成31年度までとなっていることから、現時点で変更の予定はしていません。ただし、平成31年度以降は新たに目標数値等を設定することを検討しています。

(岡本委員)

- ・チョイソコとよあけ事業が本格稼働となった場合に市内全域へエリアを広げるなどといった市の展開を聞かせてください。自動運転も考えているのか。

(回答)

市の中心である市役所、前後駅、藤田保健衛生大学の三つを中心とした地域は、電車、バス、ひまわりバスという既存の公共交通でカバーされています。これらでカバーできていないエリアでの実施を考えています。三つの地区への導入に向けて事業者と検討を行っています。

一つ目の地区として、今回実証実験を行う仙人塚エリアは坂道でバスが入れられないため、この地区を含めた西側の間米地区で実施します。次に二つ目の地区として、勅使台エリア以外の沓掛地域は多くが現在の公共交通でカバーできていないことから沓掛地区で実施します。最後に三つ目の地区として、桜ヶ丘区、大脇区といった南側の地区で実施します。

自動運転については、今回のモデルでは行いませんので、運転手の確保や人件費などが事業の継続に向けた課題の一つであることから、この点の採算性の確保についても実証実験において検証していく必要があると考えています。

- (6)「地域ブランド“とよあけ花マルシェ”推進事業」地方創生推進交付金について事業概要、今年度の取組み、来年度以降の取組み及び資料 10 頁課題シートを用いて課題点についての説明を行った。

(佐藤委員)

- ・豊明市が花の街というイメージがなく、市の花「ひまわり」といった印象も市内を見渡しても感じられないように思います。先日、テレビで食用花「エディブルフラワー」が取り上げられているのを見たが、インスタ映え等を目指す方向も検討するのが良いと思います。

(光岡委員)

- ・花き市場があるというイメージしかありませんが、花き市場はあくまで取引市場であり一般の方が購入することができません。

(根尾委員)

- ・花き市場と何かしらのコラボレーションで活用はできないでしょうか。東京や大阪の花き市場は一般の方向けの販売も実施していると聞いており、同様に実施してはどうでしょうか。

(回答)

豊明市の花き市場は現在一般の方への販売は行っていません。また、一般の方へむ向けに見学会を設定した場合も、販売を行っていないことから購入に繋がっていません。全国の花の市場動向を見ると、国内市場は縮小していることから、花き市場としては海外向けの販売強化に向け取り組んでいるような状況です。本市としては、花ボランティアの育成や市民の中に花のファンを増やすことを行っていきたいと考えています。

(豊田委員)

- ・卸売市場は消費者にとっては、閉鎖的な場となりがちです。例えば愛知県稲沢市の国府宮神社で開催されている植木まつりのような消費者向けのイベントを開催してはどうでしょうか。

また、知名度アップに繋がることとして花マルシェ商品をふるさと納税のラインナップに取り入れてみてはどうでしょうか。

(回答)

ふるさと納税については今の時期は花の商品が乏しいですが、秋から冬にかけては実施しています。市内の花の生産者は少ないのが現状です。県内では、田原市は花の生産量が多いことで知名度が高いが、花の生産はビニールハウス栽培を主としており実際に市内で花をみることができず、田原市としても訪問者に花のまちであることを感じてもらうのが難しいと聞いていることから、本市だけではない花によるまちづくりの課題と認識しています。

(岡本委員)

- ・エディブルフラワー（食用花）について、J Aとしても宣伝を行っています。また、花き市場の案内ツアーについても今後検討したいと考えています。花き市場に近い豊明駅等でのイベントを検討してみたいはいかがでしょうか。J Aとしても協力してきたいと考えています。

(回答)

豊明駅近辺のイベントとして、J Aあいち尾東阿野支店にもご尽力を頂いている阿野マルシェが昨年度からスタートしており、本年度は花マルシェブースを設ける予定です。

- (7) 駅前賑わい創出「エキカツ」を核とした商工活性・駅周辺機能活性化事業 地方創生推進交付金について事業概要、今年度の取組、来年度以降の取組及び資料 10 頁課題シートを用いて課題点についての説明を行った。

(彦坂委員)

- ・駅前商店街の活性化はどの地域も苦勞している状況です。イベントは一時的に人が集まるだけなので、イベントで終わるのではなく継続的な発展を目指して個々の店舗それぞれの取組みが必要です。また、若い人たちが新たなアイデアを出して魅力ある店舗作りが必要であると思います。

(酒井委員)

- ・エキカツイベントは毎回満席であるが、回転率を上げ前後駅の乗降者をいかにより多く取り込むかが課題です。また、実行委員会においても新規メンバーを採り入れ継承を行っていくことが重要であり、若い人主体での活性化がキーであると思います。

(星長委員（代理 都築氏）)

- ・藤田学園には入院患者、通院患者、学生、教職員を含め 1 日 1 万人が出入りしています。年間ではおよそ 360 万人の出入りがあります。しかし、駅や駅周辺にどのようなものがあるかについて知るすべがないため、QR コード等を利用して周知するなどを検討してはいかがでしょうか。また、夜カフェ等のイベントは学生の中でも好評価であったので、関心を高めるような取組みをしながら継続させるべきであると思います。

(竹澤委員（代理 浅田委員）)

- ・愛知県は人口微増であるが、若年層の女性が東京圏へ流出している傾向が見られることから、若い女性に向けた魅力ある取組みは重要だと思います。

(豊田委員)

- ・岐阜県御嵩町では駅前でエコビアガーデンを毎月第3金曜日に実施しており、子どももたくさん参加をしており盛況であると聞いています。
家族一緒に子どもが参加できるイベントの要素を取り入れるといいのではないのでしょうか。

(田畑委員)

- ・女性が来場すれば男性も必然的に女性と一緒に参加するといった側面からみても、女性を呼び込むような仕組みづくりが必要ではないかと思えます。
また、夜カフェのジャズ演奏時間前の時間で子ども向けのイベントを実施するといいいのではないのでしょうか。

(根尾委員)

- ・エキカツイベントの対象者はどういった方々でしょうか。

(回答)

対象者は20～30代の女性を主な対象として計画をしています。また音楽の生演奏については当初20代～30代の年齢層に好まれそうなポップス等も検討しましたが、賑やかで大きな音が騒音に繋がるため、駅周辺に住宅地が隣接する立地環境等もふまえてジャズの生演奏をしています。他にも来場者に楽しんでもらうイベントを展開しており、名古屋短期大学ダンス部の皆さんにもご出演いただき、大変好評です。今後も、多くの催しで、活性化につながる事業を行っていきます。委員の皆様には、いつでもご意見をお願いします。

以上で本日の議題は終了とした。

その他、事務局からの連絡事項については以下のとおり。

(事務局)

次回は来年7月頃の開催を予定しています。引き続きご協力をよろしく願いいたします。

以上

平成 30 年度豊明市まち・ひと・しごと 創生総合戦略推進委員会 次第

日時 平成30年7月24日(火)

午後2時～4時

会場 豊明市役所 本館 会議室3

1. 挨拶

2. 議題

- 1 辞令交付、会長選任等
- 2 審議会の公開について
- 3-(1) 総合戦略の役割と位置づけ
 - (2) 総合戦略の進行管理
 - (3) 事業の展開状況
 - (4) 今後について
 - (5) H32以降の次期総合戦略

3. その他

配布資料

(1) 説明資料

- P1 総合戦略の役割と位置づけ、総合戦略の進行管理
- P2 事業の展開状況、H32以降の次期総合戦略
- P3-4 『「まち・ひと・しごと創生総合戦略」関係事業』 主な事業など
- P5-7 『「地域ブランド」とよあけ花マルシェ」推進事業』 「地方創生推進交付金」
- P8-9 『「駅前賑わい創出「エキカツ」を核とした商工活性・駅周辺機能活性化事業」
「地方創生推進交付金」
- P10 課題シート
- P11-15 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略 創生 63 事業一覧

(2) 参考資料

- 豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会の公開等に関する取扱要領
- 豊明市事業者支援ガイド
- 豊明市市街地整備関連事業箇所図
- 豊明団地「けやきいきいきプロジェクト」の取組み
- 豊明市おたがいさまセンターちゃっと

豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 委員一覧

平成30年7月1日現在

	所属	氏名	役職等
1	あいち尾東農業協同組合	岡本 一彦	豊明基幹支店長
2	豊明市商工会	酒井 克俊	副会長
3	名古屋鉄道株式会社	豊田 信昭	鉄道事業本部計画部 計画課長
4	経済産業省中部経済産業局	彦坂 謙二	総務課長
5	愛知県政策企画局	竹澤 功	政策企画局 企画課長
6	学校法人藤田学園	星長 清隆	学長
7	学校法人桜花学園	根尾 文彦	学芸学部 教授
8	連合愛知尾張東地域協議会	佐藤 元紀	副代表
9	中日新聞 スポーツ総局	田畑 皆彦	レース部長
10	市民公募	光岡 道則	

豊明市 総合戦略関連の主な事業

基本目標1 しごと活力創生プロジェクト
若者が働きがいを感じる企業が多いまちをつくる

企業立地支援に向けて、新体制で新規政策を展開！

7 企業立地支援事業

【事業開始年度：平成28年度】
新たな工場等の立地促進のための制度を用意する。
平成29年度末時点で9社。

KPI	計画策定時 (H26)	実績値 H28	実績値 H29	目標値 (H31)
新規立地企業数	0	7	9	10 企業 (累計)

(1) 主な企業支援補助金交付制度

名称	内容	実績	事業費 (千円)	補助予定額 (千円)
企業再投資促進補助制度	市内に長年立地する企業の設備投資を支援	1 件	1,013,415	10,000
中小企業再投資促進補助制度	市内に立地している中小企業の設備投資を支援	1 件	94,188	4,709
21世紀高度先端産業立地補助制度	高度先端産業分野における大規模な工場の設備投資を支援	0 件	-	-

(2) 企業訪問及び御用聞き制度【事業開始年度：平成29年度】

企業（製造業）に対し、地域活性化推進室が企業を訪問し、産業施策等の情報提供及び御用聞きを行う。平成29年7月より開始。実績：企業訪問実績 29 件

(3) 企業立地に係るワンストップ相談窓口制度【事業開始年度：平成29年度】

市街化調整区域内において工場等の建設の具体的な立地候補地を検討している企業に対し、地域活性化推進室が窓口となり、工場等の立地に関係する担当部署を集めて、立地の可能性、手続き等について相談会を行う。平成29年7月より開始。実績：相談窓口案件 1 件

(4) 店舗等水まわり改修工事費補助金【事業開始年度：平成29年度】

豊明市市内で営業している店舗に、サービス向上及び地域経済振興を目的として、店舗等の水まわり回収工事にかかる費用の一部の助成を行う。
平成29年4月より開始。実績：年間補助件数 6 件

15 とよあけブランドづくり開発事業【事業開始年度：平成27年度】

地方創生推進交付金での事業展開をおこない、花マルシェ事業として花関連商品の開発に取り組んだ。
商品は主に菓子類で、商品開発に向け専門家を招聘し3回に渡って事業者と共に勉強会を開催した。

KPI	H26	H28	H29	H31 目標
地域ブランド化した商品数	0	3	10	15 商品 (累計)

豊明産エディブルフラワーを使用し、より強く地域に「とよあけ花マルシェ」ブランドを発信した。

基本目標2 ひとが集うまち創生プロジェクト
 誰もが訪れたい、住みたいと思うような、ひとが集う魅力あふれるまちをつくる

開発検討をはじめ人口増加に向けた取り組みと地域資源を活かした魅力を高める施策を展開！

21 住居系市街地の整備促進事業

前後駅周辺における拠点性の一層の向上を図るため、都市機能の集積と多様な住まいの整備促進を図る。現在、間米南部地区と寺池地区の市街地整備の検討が始まっているほか、産業系の土地利用についても2地区検討に着手している。

KPI	計画策定時 (H26)	実績値 H28	実績値 H29	目標値 (H31)
前後駅周辺の 居住人口 (500m 圏内)	5,921	6,121	6,121	6,100 人

22 同居リフォーム促進事業 【事業開始年度：平成 28 年度】

市内にて新たに三世代以上で同居をするために住宅にリフォーム、増改築等をする方に対し、その工事に要する費用の一部を補助する制度を平成 28 年 4 月 1 日に施行した。

KPI	H26	H28	H29	H31 目標
補助件数	0	2	4	30 件 (累計)

23 親との同居・近居購入費補助事業 【事業開始年度：平成 28 年度】

親や祖父母、子や孫と同居や市内での近居をするために新たに住宅を新築・購入し取得した場合、取得した翌年度からの家屋の固定資産税相当額の一部を補助する制度を平成 28 年 4 月 1 日に施行した。

KPI	H26	H28	H29	H31 目標
補助件数	0	70	147	30 件 (累計)

27 古戦場まつり開催事業 【事業開始年度：平成 27 年度】

歴史的観光資産である「桶狭間の戦い」を起点にした古戦場まつりを開催する。平成 30 年は 6 月 2・3 日に桶狭間古戦場伝説地及び高德院等にて開催し、約 3 万 1 千人が来場した。

KPI	H26	H28	H29	H31 目標
来場者数	30,000	20,000	37,902	32,000 人／年

加速化交付金事業で得たノウハウ等を継承し来場者の増加に繋がっている。

32 花の街とよあけの推進強化事業（推進交付金事業）（拡充）【事業開始年度：平成 27 年度】

市内事業者や大学、市民団体、行政で立ち上げた”とよあけ花マルシェ”のブランドを広く周知するため、前後駅前広場での花関連イベントや講習会等を 10 回以上開催した。中でも寄せ植えやフラワーアレンジメントなどの体験会が人気で、毎回定員となっており、年間総参加者数が 2000 名を超えている。周知活動と並行してエディブルフラワー等、花関連商品の開発も進み市内の洋菓子店等で常時商品購入が可能となるまでに至っている。

KPI	H26	H28	H29	H31 目標
講習会等の 参加者数	1,000	2,100	2,771	2,000 人／年

基本目標 2 32

花の街とよあけ推進強化事業



基本目標 2 27

古戦場まつり開催事業



基本目標3 子どもの学びと育ち創生プロジェクト
教育環境を整え、子どもを安心して産み育てられるまちをつくる

女性の働きやすさ、子どもの育ちを支援する新規施策を展開！

LGBT 普及啓発活動事業 【事業開始年度：平成 29 年度】

市では、平成 29 年 8 月に愛知県内で初めて「LGBT とともに生きる宣言」を行った。これを受けて、全ての市民の人権を尊重し、多様な生き方を認め、誰もが安心して暮らせるまちをめざすために、LGBT 理解講座や職員研修などを開催。

南部教育支援センター関連事業 【事業開始年度：平成 29 年度】

教育支援センター「フレンドひまわり栄」で不登校児童生徒を対象に集団生活への適応を促し、学校へ登校できるように支援する事業について相談員を 1 名増員することで、平成 30 年 1 月開設の南部地区における教育支援センターの運営を円滑に進め、教育相談員・指導員の 2 名体制により、市内小中学校の不登校児童生徒等の学校復帰を支援。

事業所内保育給付事業 【事業開始年度：平成 30 年度】

保育所、小規模保育事業所に加え、地域型保育事業の一つである事業所内保育事業所のかなで保育園が平成 30 年 4 月にオープンしました。0 歳児から 2 歳児までの保育を実施しており、定員数は 30 名で地域枠として 26 名の枠があり、待機児童の解消に取り組んでいる。

ひきこもり対策推進事業 【事業開始年度：平成 30 年度】

平成 30 年 4 月に豊明市社会福祉協議会へ事業委託し、市役所内にひきこもり相談窓口『はばたき』を開設。専任職員 2 名を配置し、一般生活から社会参加、就労に至る相談を受け、ひきこもりからの脱却を目指す。平成 30 年 6 月からは「ひきこもりサポーター養成講座」を実施し、全 3 回のカリキュラム受講者にはサポーター養成講座修了証を交付する。

38 病後児保育事業

【事業開始年度：平成 28 年度】

病後児保育室「えがお」平成 28 年 4 月開所。

病気の回復期（病状が安定していて、回復に向かっている時期）で、

医師から病後児保育が可能と診断された子どもを病後児専用施設で一時保育する事業。保育は担当保育士・看護師が行い、病状の変化に対応する。

KPI	計画策定時 (H26)	実績値 H28	実績値 H29	目標値 (H31)
病後児の預かり登録人数	0	141	235	200 人(累計)

39 ネウボラ事業

【事業開始年度：平成 28 年度】

コーディネーターを配置し、地区担当保健師と共に妊娠期からの切れ目のない支援ができるように要支援者については、支援プランを作成する。また、平成 30 年 4 月よりファミサポ・ママサポを市役所内に移転したことにより、保健師・ファミサポのトータルサポートが可能となった。

KPI	H26	H28	H29	H31 目標
支援プラン作成件数	0	31	19	100 件/年

41 産後ケア事業、産後健診事業

【事業開始年度：平成 28 年度】

平成 28 年 4 月より母子健康手帳交付時、産後健診（1 回）の補助券を発行。平成 29 年度からは医療機関と提携の上宿泊ケア、家事・育児援助を実施。家事・育児援助においては平成 29 年度 7 人の利用があった。

KPI	H26	H28	H29	H31 目標
産婦健診助成事業による受診率	0	77.5	98.6	95%/年

42 不妊治療への助成

【事業開始年度：平成 19 年度】

一般不妊治療助成限度額の本人負担限度額の 1/2 の上限額を平成

KPI	H26	H28	H29	H31 目標
不妊治療助成件数	64	52	53	65 件/年

28 年度より 5 万円から 10 万円へ変更したことにより一層の不妊治療への助成を図っている。

基本目標4 暮らしの満足創生プロジェクト
医療環境、公共交通などを充実し、暮らしの満足度の高いまちをつくる

全国的にも先進的な事業など、暮らしの安心と賑わいにより満足度を高める取組を展開！
地域公共交通×一般介護予防事業「らくらす」事業【事業開始年度：平成29年度】

通学距離が長い小学生の安全な下校のためのスクールバスと高齢者の介護予防を両立する事業。
沓掛小学校区の中で通学距離が長い地区は登校時にひまわりバスを使用しているが、下校時にはひまわりバスが利用できないため保護者の迎えなどによって下校していた。このためのバス運行を行うとともに、バスのアイドルタイムには、老人福祉センターなどで行う介護予防事業に参加するための足としての会員制バス運行としても使用するもの。平成29年11月より運行している。

オンデマンドライドシェア「チョイソコとよあけ（仮称）」事業【事業開始年度：平成30年度】

超高齢社会となることが予想される中で、健康でかつ安心して住み続けられる街であり続けるためには、自家用車だけでなく、生活に必要なお出かけのための移動手段を多様な交通モードの組み合わせで実現していくことが必要となる。自宅から鉄道駅・バス停までは遠いが、タクシーは運賃が高いという理由から、自家用車に依存せざるをえない住民がいる。バスよりもきめ細かく、タクシーよりも安価に移動できる公共交通を、病院・薬局・フィットネスなどのヘルスケア関連企業などと連携により実現する平成30年度からの新規事業。実証実験が、7月にスタート予定。

55 医療・福祉・高齢者等の生活支援拠点整備事業（けやきいきいきプロジェクト事業）

【事業開始年度：平成26年度】

豊明団地を医療福祉の拠点とすべく、行政・UR・藤田保健衛生大学が連携して取り組みをすすめている。団地内には、大学が住民の健康相

KPI	計画策定時 (H26)	実績値 H28	実績値 H29	目標値 (H31)
高齢者等の相談件数	0	831	1,479	500人/年

談窓口として「まちかど保健室」を運営。大学の学生が約60名が団地に居住し、コミュニティ活動に参加している。平成27年度に「北部地域包括支援センター出張所」を設置。平成29年7月に「豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし」を業務開始。本事業における医療介護連携体制による取り組みは、団地だけにとどまらず、共生社会につながる以下の事業にもつながっている。

公的保険外サービスの創出と促進【事業開始年度：平成28年度】

民間事業者12社と協定を締結し、多様化する高齢者のニーズに応えるとともに、医療保険や介護保険外のサービスを活用して健康寿命を延ばすことを目指す取組み。全国初の試み。購入品を無料配送する「コープあいち」の取組みなど。この取組みは、前述の「らくらす」「チョイソコとよあけ（仮称）」事業にもつながっており、民間企業との連携を生んでいる。

多職種合同ケアカンファレンス【事業開始年度：平成28年度】

平成28年県内初の取組み。医療介護の各専門職が連携し、個別ケースの症例検討を通じた、各専門職の自己研鑽、多職種間の相互理解・連携の構築を通じたケアマネジメントの質の向上により、切れ目のない医療介護サービスを提供するもの。

豊明市おたがいさまセンター「ちゃっと」【事業開始年度：平成29年度】

市民が生活のちょっとした困りごとをお互いに支えあう仕組み。市民、JAあいち尾東、コープあいち、南医療生協の共同による住民主体型生活サポート事業。平成30年4月は月90件の利用。

56 駅前賑わい創出事業

【事業開始年度：平成28年度】

ハロウィンイベントやクリスマスイルミネーション、変わり菊まつり

KPI	H26	H28	H29	H31 目標
マルシェの参加出店数	0	14	27	80店（累計）

など、前後駅前広場でイベントを年11回開催。駅活イベントは駅活実行委員会が実施主体となり、Jazzの生演奏や軽食やアルコール販売の出店、名古屋短期大学の学生の協力による演出など好評を得て、平成30年度からは地方創生推進交付金にも採択され、さらに事業の発展を図る。平成29年度は回数を増やし9回開催。

地域ブランド”とよあけ花マルシェ”推進事業
「地方創生推進交付金」(28年度-31年度)

1. 概要

花マルシェ事業は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけた事業「花の街プロジェクトの推進」を具体化したもので、平成28年度「地方創生推進交付金」に採択された。

採択事業の概要は次のとおり(3年間事業合計11,850(千円)交付。1/2補助。H28交付額1,725千円)である。今回は平成29年度の事業実績等を行う。

2. 実績と評価認識

(実績)

事業内容		決算 (千円)
28年度 1年目	・商品開発に向けた専門家の指導・助言による商品企画、試作、デザイン等の支援	450
	・エディブルフラワーの市内生産拡大及び流通拡大に向けた資材購入費等支援	450
	・花関連イベントの会場設営及び運営費	1,350
	・運営経費	1,200
(合計)		3,450
29年度 2年目	・プロモーション及び花関連イベントの企画運営	1,000
	・エディブルフラワーの市内生産拡大及び流通拡大に向けた資材購入費等支援及び新商品の試作	800
	・エディブルフラワーの消費拡大のための支援及び市場調査、商品企画アドバイス等	710
	・普及啓発グッズの作成(紹介冊子 10,000部等)印刷費	400
	・普及啓発グッズの作成(のぼり等 30本等)消耗品費	90
・運営経費		1,200
(合計)		4,200

(評価認識)

平成28年7月に豊明市商工会事業である前身の「花の街とよあけ推進協議会」から、事業を発展的に引継ぎ、花の街をイメージ付けるイベント運営に加え、地域経済活性化のための商品開発と販売を加えた「とよあけ花マルシェ」事業を展開した。

当該交付金では「とよあけ花マルシェ商品」として、花をモチーフとした商品(主に食品)の開発を行った。商品開発では、試作に掛かる費用面の補助を行うとともに、飲食店経営者やシェフを招聘し、勉強会を開催。専門家に試食を行ってもらうことで、味・品質・形体・パッケージなどの「売り」につながるアドバイスを受け、商品に改良を加えてきた。平成29年度までに、市内8事業者が全13商品を開発し、現在では常に市内で花マルシェ商品が購入できる状態にある。また、上記の内8商品は豊明産エディブルフラワーを使用しており、より強く地域性をだすことで他商品との差別化を図っている。

商品開発と並行して、花への関心向上及び交流人口の増加、「花の街」イメージを定着させるため、市内で年間10回以上の花をコンセプトにしたイベントを開催。中でも平成29年3月に開催した「とよあけ花マルシェ」は、来場者1,000名を達成。各イベントは回を重ねる毎に参加者数が増加し、平成29年度の総参加者数は4,000名(交付金対象外事業含む)を超え、市外からの来訪者は約880名に至った。参加者の「とよあけ花マルシェ」の認知度は7割を超え、認知度向上へ繋がった。

3. KPIの推移

	平成29年 3月末目標	平成29年 3月末実績	平成30年 3月末目標	平成30年 3月末実績	平成31年 3月末目標
とよあけ花マルシェ商品の販売金額(累計)	200千円	100千円	3,200千円	1,331千円	9,200千円
とよあけ花マルシェ商品の取り扱い店舗数(累計)	5店舗	1店舗	20店舗	8店舗	40店舗
とよあけ花マルシェ開発商品数(累計)	3商品	3商品	10商品	13商品	15商品

4. 今年度の取組予定

これまでの取組により、花に関心の高い豊明市民へは「とよあけ花マルシェ」の認知度は少なからず向上した。しかし、市外や花マルシェ商品の認知度はかなり低い状態にあり、商品の販売も総額100万円を超えたものの、市内の消費に止まっている。平成29年に実施したプロジェクトメンバーへのアンケートでも、花マルシェの知名度の低さが課題として挙げられている。以上から、平成30年度は、認知度向上のためプロモーションに重点を置いて事業を展開する。

事業内容		予定 (千円)
30年度 3年目	・プロモーション及び花関連イベントの企画運営	1,100
	・エディブルフラワーの市内生産拡大及び流通拡大に向けた資材購入費等支援及び新商品の試作	700
	・商品開発に向けた専門家による指導・助言により商品企画、試作、デザイン等の支援等(販路開拓を含む)	710
	・普及啓発グッズの作成(紹介冊子 10,000部等)印刷費	490
	・運営経費	1,200
(合計)		4,200

5. 平成 31 年度以降の展開【予定】

とよあけ花マルシェ事業の目標は、豊明市に「花マルシェ」というイメージの定着を図り、足を止めてもらえる街にすることで交流人口を増やし、地域経済を活性化させることにある。この目標を達成するため、これまで 3 年に渡り、花関連商品の開発やイベントを開催してきた。これまでの事業では、花関連商品の開発と販売に注力してきたが、花マルシェの知名度不足により、販売につながらなかった。平成 31 年度からの 3 年では、イメージの定着に力を入れ、知名度を向上させることにより、花関連商品の販売・地域経済の活性化につなげたい。

【現状と課題】

①参加者が固定され広がりが生まれない

とよあけ花マルシェプロジェクトは、民間企業や大学・市民団体・行政など市内約 30 団体により構成されているが、その活動力や資金には限りがあり、現状の事業内容から大きな広がりを持たせることができていない。そのため、小規模のイベントを市内で開催することに止まり、飛躍的な認知度向上や発信につなげることができていない。

⇒さらに多くの市民が参加できる仕組みを構築し、市全体で花マルシェを盛り上げ、市民自らが発信していくことにより知名度向上を目指す。

②自発的な参加につながらない

事業の企画や推進、プロモーション活動は、事務局である行政が中心となって行っており、参加団体の自発的な活動にまでは至っていない。

⇒参加団体や市民一人ひとりが積極的にプロジェクトに参加し、自らが発信していく仕組みづくりが必要。

③イメージ定着につながらない

豊明市の花の街の所以である花き市場の存在もあまり知られておらず、なぜ豊明市が「花の街」なのか、背景の部分が伝わっていない。

⇒東洋一の花き市場がある豊明市独自の「花の街」を強く印象づける必要がある。

【課題解決へのコンセプト】

豊明市は最先端花文化発信地 みんなで育む「とよあけ花マルシェ」

日本一、世界 5 位の規模を誇る花き市場を有する豊明市。花き市場には、世界中から花のさまざまな情報が集まってくる。そんな豊明市の花文化を誇りに思い、その文化を市民みんなで広めていく！

上記課題とコンセプトを踏まえながら目標達成のため、創生交付金を活用し、事業を推進する。

【市民参加型事業(例)】

- 市民スタッフの募集(花知識を身に付けた花解説員や花関連講習講師、イベントボランティアスタッフ)
- 花関連講習会をまとめた着地型イベント「オンパク」の開催
- SNS を活用した最新花情報の発信(豊明市内の花フォトコンテスト、市場からのトレンド情報)
- 市内外、さまざまな世代へ向けた市場見学(親子花育セミナー、講習会付き市場見学 等)
- 市民参加を呼びかける PR キャンペーンやワークショップの開催

【3 か年計画】

	1 年目 (H31)	2 年目 (H32)	3 年目 (H33)	3 年後の目標
プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> ○市民参加による SNS 花情報発信 (フォトコンテスト等) ○話題性のあるイベントでプレスを活用 ○市場からの最新花文化発信 (手作り冊子等) 	ネットアンケートによる効果検証		10 km 圏内花マルシェ認知率 10%
花文化醸成 (イメージ定着)	<ul style="list-style-type: none"> ○1 品種に特化したイベント開催 (市等) ○エディブルフラワー関連発信 ○学校への花育授業 ○花関連人材育成 (花に精通した専門家や体験教室を開催する人を育成する) ○市民参加募集 (参加を呼びかけるキャンペーンの実施) 	★花関連人材による期間限定着地型イベント開催 (アソビュー登録等) →市民自らが企画実施 (実施費用の一部を補助) ○知識向上のための研修や講演会を開催	○他市町の花関連イベントでも出張解説を行う ○それぞれの花知識を持った人が各自で活動を行うようになる	花文化イベント参加者数 5 千人 (市外のイベント含む)
経済活性化	<ul style="list-style-type: none"> ○花関連商品の開発 ○販路開拓 (市外への出店) ○各種イベントとの連動 			年間売上目標 300 万円

3 年後の豊明市は、市民が「花の街」を誇りに思い自ら発信することで、市内外の人が

「花」という共通のイメージを持ち、足を止めてもらえる街になる

これまでの豊明市は、市に対するイメージがなく、ただ通り過ぎている街であった。「とよあけ花マルシェ」事業を推進していくことで、市民自らが大きな花き市場のある豊明市を誇りに思い、市民自らが発信していくことで、花の持つ豊かなイメージを市の地域ブランドとし、市内外へのイメージアップを図り、活力あふれる豊明市を創出する。

6. 成果物

★低糖質レアチーズケーキ

店舗名：マリーヌ洋菓子店
価格：未定



★フラワーポット

店舗名：マリーヌ洋菓子店
価格：486円（税込）



★フルールショコラ

店舗名：くるみ
価格：320円（税込）



★お花を飾った ハート型ブラウニー

店舗名：ブラウンビーンズ
価格：280円（税込）



★お花のキッシュ

店舗名：ブラウンビーンズ
価格：280円（税込）



★エディブルフラワー ドレッシング

店舗名：ソノラ
価格：1060円（税込）



↑花マルシェ商品の一部

↑花マルシェ商品をまとめた
商品紹介リーフ

駅前賑わい創出「エキカツ」を核とした商工活性・駅周辺機能活性化事業
(地方創生推進交付金(平成30年度-平成32年度))

1. 概要

事業は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に位置づけた事業「駅前賑わい創出事業」を具体化したもので平成30年度「地方創生推進交付金」に採択された。

採択事業の概要は次のとおり(3年間事業合計5,300(千円)交付。1/2補助。H30交付額1,500千円)。である。事業開始年度である平成30年度の実績報告を行う。

2. 推進交付金申請までの取組み

【前後駅の状況】

- ・交通結節点である前後駅の年間利用者数は、名鉄名古屋本線での急行停車駅としては最多である。
- ・駅周辺の商店街は空き店舗が年々増加して活気を失っている状態となっている。
- ・前後駅利用者の多くが通勤通学で通過するのみとなっている。
- ・前後駅は各計画において、市内の高齢者等自動車を使えない層や子育て世代の生活利便性の向上を図り、都市活力の創出及び持続的な発展を支える都市づくりの拠点となることが求められている。

【これまでの前後駅活性化事業】

- ・平成28年度より、豊明市を盛り上げたいという有志の集まりで組織された駅活実行委員会を発足。
- ・駅前から賑わい創出と商業の振興を実施、豊明市全体の活性化を目指し、駅活イベントを実施。
駅活イベントでは、空間作りをコンセプトとした夜カフェ、親子で楽しめるイベント(ハロウィンイベント)等の実施を行っている。平成28年度では4回実施、平成29年度では8回実施した。

【地域再生計画及び推進交付金活用による発展策の検討】

- ・駅前賑わい創出「エキカツ」を核として、駅を活用し、市民の活躍の場の提供を目指す。
- ・豊明市全体の活性化を図り、市外に対して豊明の個性・魅力を知ってもらう。
- ・市内向けにはシビックプライドを刺激し向上させることで、豊明市が選ばれるまちになるための事業を行う。
- ・前後駅前活性化を契機に、賑わい創出を市内全体への経済循環及び新たなビジネスの創出を目指す。
- ・駅周辺機能充実による中心商業地域の活性化、市内経済活性化を目指す施策を実施する。

◆駅活実行委員会での駅活イベントの実施

- ・駅周辺での賑わい創出及び経済循環に繋げるために、市内への人の誘導策を実験的に事業展開する。

◆市内飲食店等への誘導施策

- ・市内飲食店及び交通事業者と連携し、イベント来場者を市内へ誘導する施策を実験的に展開する。
- ・市内飲食店への経済循環を目指し、輸送手段及びサービスの拡充を図る。

◆駅周辺機能充実施策

- ・駅活イベントにおいて、アンケートによる駅周辺機能のニーズ調査を行う。
- ・上位計画の目標である「めざすまちの姿」と整合を行い、必要な機能実現のためのワークショップを行う。
- ・先進都市の事例による視野の拡大及び成功スキームの共有を行い、総合的な駅周辺活性化を検討する。

3. 地方創生推進交付金採択内容

時期	事業内容	予定 (千円)
30年度 1年目	<ul style="list-style-type: none"> ●駅活実行委員会での駅活イベントによる現状把握 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント時での来場者アンケート調査を行う。 ・年齢層・市内外・男女比率・グループ平均人数等来場者層を調査する。 ・駅利用者が多い近隣大学、高校に対してアンケート調査を行う。 【経費概算:駅活イベント実施運営費270万円】 ●市内飲食店等への誘導施策 <ul style="list-style-type: none"> ・イベント来場者及び駅利用者を市内飲食店に誘導し経済循環を促す。 【経費概算:事業広告費20万円】 ●駅周辺機能充実施策 <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺に必要な機能のニーズと上位計画の目標であるめざすまちの姿とのすり合わせを行い、必要な機能を実現するためのワークショップの開催を行う。 【ワークショップ運営費10万円】 	3,000
31年度 2年目	<ul style="list-style-type: none"> ●駅活実行委員会での駅活イベントによる社会実験 <ul style="list-style-type: none"> ・駅活実行委員会による駅活イベント実施規模の拡大を図る。 ・駅南側への賑わい創出の検討・実施を行う。 ・商業施設と協働実施を図る。 【経費概算:駅活イベント実施運営費300万円】 ●市内飲食店等への誘導施策 <ul style="list-style-type: none"> ・市内飲食店等への誘導施策のシステム構築を目指す。 【経費概算:バス借用費30万円(10日間想定、運転手費用含む)・事業PR啓発物品15万円・事務費5万円】 ●駅周辺機能充実施策 <ul style="list-style-type: none"> ・先進都市の事例による視野の拡大及び成功スキームの共有を行う。(講師派遣) ・総合的な駅周辺活性化の検討を協議する場を調整する。 【経費概算:創業支援・資金調達講習会運営費20万円(講師謝礼等含む)】 	4,000
32年度 3年目	<ul style="list-style-type: none"> ●駅周辺活性化を検討する協議会による新しい体制での駅活イベントによる賑わい創出の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・従来の実施に加え、広域連携を目指した事業の実施を行う。 【駅活イベント実施運営費300万円】 ●市内飲食店等への誘導施策 <ul style="list-style-type: none"> ・市内飲食店等への誘導施策のシステムを構築する。 ・市内飲食店等への商工振興施策及び広告による周知を行う。 【広告制作費10万円・負担金20万円】 	3,600

●駅周辺機能充実施策

- ・総合的な駅周辺活性化を検討する協議会による多分野での活性化を目指すワークショップ等の実施を行う。
- ・駅周辺賑わい創出を対象とした創業支援を行い駅周辺での出店を促す。

【ワークショップ運営費30万円】

4. KPI

	平成 30 年 指標値	平成 31 年 平成31年 3月末目標	平成 32 年 平成 32 年 3月末目標	平成 33 年 平成33年 3月末目標
駅前周辺での飲食店の出店（事業内での講習会参加者からの出店を検討）	0 件	0 社	1 社	4 社
市内飲食店等への誘導施策利用者による飲食店への経済循環	0 円	300, 000円	300, 000円	400, 000円
駅前広場の利用率	14.7%	1%	2%	2%

5. 活動の様子（写真）

エキカツイベント（賑わい創出イベント夜カフェ、駅活実行委員会及び市内大学連携等）



とよあけ花マルシェ・エキカツ事業課題シート

地方創生推進交付金事業である「エキカツ」「花マルシェ」の交付金事業は、国からも評価検証、それを踏まえた改善が求められています。事業担当課において現状の課題についてまとめましたので、今後の2事業の更なる発展に向けご意見を賜りますようお願いいたします。

「事業名 花マルシェ」

1. 苦勞していることや課題だと感じており解決したいこと
★花文化の醸成と花のイメージの定着について
市内の事業者、大学、市民団体、行政等 28 団体で構成される「とよあけ花マルシェ」は、市内に花き市場があることから、花をモチーフとした商品開発や、花のあるライフスタイルの提案など花関連イベントを開催し、花文化の醸成と花マルシェのPR活動を行っていますが、花マルシェの知名度はまだまだ低く、「豊明市＝花」というイメージ定着には至っておりません。最先端の花文化を発信できる花き市場を多くの市民の方に知ってもらい、花文化を醸成し、豊明市に花のイメージを定着させるには、どのようなプロモーションが必要でしょうか。
2. 今後の事業の展開について委員から意見が欲しいと考えていること
★花マルシェ事業への市民参加について
とよあけ花マルシェの事業を推進するにあたり、市民に浸透させるためには、市内店舗を中心とした花マルシェプロジェクト参加メンバー28団体の力だけでなく、例えば、花に関する講座や体験教室の講師など、市民の自発的な参加による事業啓発も必要であるとと考えています。そこで、どのように市民を巻き込んでいけばよいのでしょうか。

「事業名 エキカツ」

1. 苦勞していることや課題だと感じており解決したいこと
★賑わい創出から市内商工振興への誘導策
エキカツでは前後駅前に賑わいを創出し、その賑わいを駅周辺以外の市内飲食店に誘導するため、イベント時に市内飲食店（協力店）までの交通費を一部協力店が負担するワンコインタクシーを行っていますが、利用率が上がっていない状態となっています。駅周辺以外の市内飲食店への集客方法はどのようなことが考えられるでしょうか。
2. 今後の事業の展開について委員から意見が欲しいと考えていること
★応援対象の発掘
エキカツによる事業実施は、賑わい創出に加え市民の活躍の場の提供を目指しております。これまでは、エキカツ実行委員会メンバーの人脈により、豊明市出身アーティスト「愛笑む」を起用するなど、豊明市から外に向けて頑張っている市民等の情報発信を行っていますが、今後新たな人や団体等を応援していくにあたり、どのように発掘をしていけばよいのでしょうか。

豊明市まち・ひと・しごと創生総合戦略 創生63事業一覧

基本目標1

しごとと活力創生プロジェクト ～若者が働きがいを感じる企業が多いまちをつくる～

指標	H26	H28	H29	目標値(H31)
法人市民税額	687,361千円	584,111千円	621,426千円	699,370千円
起業・創業件数	80	54	28	100件
市内就業者のうち市内在住者数	1,529	1,341	1,486	1,775人
市民のうち市内で働きたいと思う若者の割合	48.3	58.7	53.1%	55.80%

施策1.地域の経済活動が盛んなまちをつくる

担当課・室	No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	H29	目標値
産業支援課	1	新規 後継者育成・マッチング事業	大学生を対象にした企業説明会の実施	マッチング件数	0	3	3	20件(累計)
産業支援課	2	新規 起業・創業者支援事業	創業支援事業計画に基づき、創業セミナーを行う。	創業支援事業計画による創業支援対象者数	0	36	31	50件/年
産業支援課	3	新規 空き店舗を活用した活性化事業	空き店舗活用による事業に対する賃料補助を実施する。	空き店舗活用補助件数	0	1	0	2件/年
産業支援課	4	新規 市内中小企業の人材育成支援事業	新しい分野に挑戦したい事業主や販路拡大を図る事業主をバックアップすること並び商工会の将来を担う人材を育成することを目的とし、豊明市商工会に受講者を推薦してもらい、短期ビジネススクールを受講させる。受講後は、商工会の会議等で会員へフィードバックすることで、他の会員の意識啓発を図る。(10～30人程度)	受講者数	0	4	4	20人(累計)
産業支援課	5	継続 工業経営塾の実施事業	工業系の事業者、後継者を対象にこれらの方々への育成を図るために年3回程度のセミナーを開催し、制度や運営のためのノウハウをレクチャーする。	参加者数	20	12	0	15件/年
産業支援課	6	継続 プロフェッショナル人材等の就職支援事業	・職業紹介事業の継続 ・企業説明会の実施	無料職業紹介件数	158	47	70	170件/年
産業支援課	7	新規 企業立地支援事業	市内外の企業(製造業等)による新たな工場等の立地(既存企業の第二工場等の建設、移転を含む。)を促進させるべく、以下の体制を整備するとともに、当該事務の実施について市内企業のほか、市外及び県外企業に向けてPRを行う。 (1) 工場の建設に対する補助金交付制度 (2) 企業訪問及び御用聞き制度 (3) 企業立地に係るワンストップ相談窓口制度	新規立地企業数	0	7	9	10企業(累計)
産業支援課	8	未 市内居住者雇用奨励制度の整備事業	雇用、求人状況の把握(小規模企業実態調査28年度予定)したうえで、奨励金制度を創設する。	新規雇用者数	0	0	0	20人
産業支援課	9	新規 小規模企業実態調査	市内小規模企業者を対象にした実態調査を継続的に実施し、小規模企業の振興を図る。 調査内容 … 経営形態、経営状況、承継状況等 調査対象 … 市内小規模事業者 約1,800事業所	経営改善事業者数	0	0	0	100
産業支援課	10	継続 ひきざり鍋の普及事業	ご当地グルメ委員会(商工会)の推奨するご当地グルメ「ひきざり鍋」について各イベント等で振舞うなどPRを行い周知をはかる。	参加店舗数	11	11	11	15店

産業支援課	11	継続	軽トラ市の開催事業	井ノ花公園及び桜ヶ丘公園での軽トラ市を開催し、地元商業の新しい掘り起こしを支援する。	軽トラ市回数	2	4	13	4回/年
農業政策課	12	継続	新規就農者の受入れ事業	新規就農者に対し、国策である農業人材強化総合支援事業により農業次世代人材投資資金を給付し、支援している。 また市の農地バンクの利用要件緩和により、新規就農を斡旋している。	年間新規就農者数	1	4	2	2人/年
産業支援課	13	未	「とよあけ道の駅」設置検討事業	豊明南口の賑わい創出と併せた検討の実施。	計画策定の進捗率	—	—	0	計画策定
産業支援課	14	未	消費喚起プレミアム商品券発行事業	実施については、交付金の有無により決定する。 販売方法、販売額、販売冊数など課題が多く整理が必要。					
産業支援課	15	継続	とよあけブランドづくり開発事業	先行事業により27年度に策定する推進計画に基づき実施する。	地域ブランド化した商品数	1	3	10	15商品(累計)

施策2.若い人たちの地元での就労を促進する

担当課・室	No.		事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	H29	目標値
産業支援課	16	継続	職業訓練学校等への入学支援事業	現行の愛知県建設職業訓練校運営支援負担金を継続する。	訓練生数	1	1	0	2人/年
産業支援課	17	新規	社宅整備等支援事業	従業員の居住を目的とした社宅について、新規建築、新規賃貸契約した物件の家賃、管理費の一部を補助する。	年間補助件数	0	2	2	10件/年
学校教育課	18	継続	中学生の職場体験事業	市内、市外へ全中学2年生による職場体験の実施	職場体験実施事業所数 (延べ数)	216	221	215	256箇所/年
産業支援課	19	新規	インターンシップ制度支援事業	学校連携を基にしたインターンシップ制度の検討	受入参加企業、団体数	0	15	0	10社/年
産業支援課	20	新規	市内企業への就職活動支援事業	企業合同説明会を実施する。 (大府市・日進市、みよし市、長久手市、東郷町との合同開催予定)	企業合同説明会等開催回数	0	1	1	5回/年

ひとが集うまち創生プロジェクト ～誰もが訪れたい、住みたいと思うような魅力あふれるまちをつくる～

指標	H26	H28	H29	目標値(H31)
転出者数(年間)	3,281	3,069	3,497	2,996人
転入者数(年間)	3,327	3,288	3,369	3,626人
桶狭間古戦場関連の観光客数(年間)	44,000	37,154	37900	50,500人
ふるさと納税の寄付金額	92千円	35,168千円	21,325	50,000千円
市内のイベント、お店、施設がメディアで紹介され	123	240	260	148件

施策1.若い人の豊明市への愛着を深め、新しい感性を活かしたまちづくりを推進する

担当課・室	No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	H29	目標値
市街地整備課	21	新規 住居系市街地の整備促進事業	前後駅周辺における拠点性の一層の向上を図るため、都市機能の集積と多様な住まいの整備促進を図る。導入する都市機能は、物販・飲食だけでなく、旅行代理店、地場産品の直売施設、子育て支援施設、駅前保育施設、高齢者施設、若者の居場所、情報発信施設、在宅ワーク、小規模オフィスなどから、地域特性や利用者のニーズなどを踏まえ総合的に勘案して選定する。 平成30年度以降は、今後2年間の調査結果と地権者の意向により判断する。	前後駅周辺の居住人口 (500m圏内)	5,921	6,121	6,121	6,100人
都市計画課	22	新規 同居リフォーム促進事業	同一敷地内若しくは隣接する敷地において3世代以上同居のためのリフォーム工事に対し、一定額の補助を実施(年度毎3件前後を想定)	補助件数	0	2	4	30件(累計)
都市計画課	23	新規 親との同居・近居購入費補助事業	新築・購入の次年度以降3年度間における減額措置後の固定資産税相当額について補助を実施(年度毎255件前後を想定)	補助件数	0	70	147	30件(累計)
都市計画課	24	新規 空き家リフォーム促進事業	現在空き家若しくは当該工事着手前に転居することが決まってい、かつ賃貸住宅に転用することが不動産業者等と締結されているなどの自己所有の戸建住宅を条件とし、リフォーム工事費の補助を実施。事業費は(平成29年度の空家等対策計画策定後以降で、事業費は国土交通省(住宅局住宅生産課所管)「長期優良住宅化リフォーム推進事業」の補助率及び限度額を参照) ※対象790戸(H25住宅・土地統計調査 豊明市戸建空き家総数) 平成30年度から解体費補助を実施。平成30年度は1件分50万円を当初予算に計上。	補助件数	0	0	0	10件(累計)
都市計画課	25	新規 空き家対策の検討事業	平成28年度:空き家机上調査、特定空家等候補現地調査・所有者特定・意向調査、調査報告 【H28-30実施計画重点事業】 平成29年度:空家等対策計画策定、(仮)空家等対策協議会支援業務 (平成28年度事業費内訳のうち、国費1/2充当の条件は、空家等対策計画策定することが条件であるため、当該計画策定を行わない場合、全額市費負担)	調査のため成果指標なし				
学校教育課	26	新規 Uターン促進事業	【大学等入学支援事業】 大学入学予定者に対し、入学金1人当たり30万円を上限に給付又は貸付けし、大学卒業後も市内に定住してもらい、市民税納付者になっもらう。(世帯の所得制限がある「学び応援奨学金(給付型)」と卒業後に豊明市に住んでいる期間は返還が免除される「ふるさと応援奨学金(貸付型)」の2種類あり) (実績参考) 28 給付4人/5人定員、貸付2人/15人定員 29 給付5人/5人定員、貸付3人/15人定員 30 どちらも10人定員に改めた	入学支援金の給付を受けた学生が、大学等卒業後に市内に定住した人数	0	6	8	60人

施策2.とよあけの歴史・伝統・文化に誇りを持ち、継承・創造できる環境をつくる

担当課・室	No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	H29	目標値
産業支援課	27	継続 古戦場まつり開催事業(観光協会事業)	歴史的観光資産である「桶狭間の戦い」を起点にした古戦場まつりの開催。毎年6月第1土・日曜日に桶狭間古戦場伝説地及び高徳院等にて実施。土曜日は主に祭礼をおこない、日曜日は勇壮な武者行列、合戦再現劇などを行います。	来場者数	30,000	20,000	37,902	32,000人/年
産業支援課	28	継続 甲冑製作補助事業(観光協会事業)	古戦場のまちとよあけをより身近に体験していただくため、ダンボールを使った甲冑製作教室を運営している団体への補助支援をする。この教室で作られた甲冑は古戦場まつりの武者行列参列時に活用される。	参加者数	30	30	26	30人
産業支援課	29	継続 史跡を活用した観光拠点整備事業	プロモーションビデオを活用したインターネット拡散及びイベント等での放映。 ガイドボランティア待機所を活用した情報発信及び展示等の実施。 中京競馬場前駅、前後駅前にレンタサイクル、カーシェアの拠点を整備する。 レンタサイクルに関しては、市営駅前駐輪場事務所及び古戦場伝説地の案内所等にて貸し出し事務を実施する。また、観光パンフレットの配布等も併せて実施する。カーシェアに関しては、民間事業者が実施しているカーシェアを利用する。 また、駅改札付近に、これらを誘導するような案内看板(外国語対応)も民間活用しながら設置する。	観光ガイドの利用客数	11,000	17,154	17,155	15,000人/年
産業支援課	29	継続 同上	同上	レンタサイクル、カーシェアを利用した観光客数	0	2	1	500人
産業支援課	30	新規 桶狭間関連商品の開発事業	土産品については、既存商品の販売促進を行う。(イベント出店等) PR事業については観光まちづくり事業(継続事業)に含めた形で実施する。 フォーラムなどの開催は、大学連携を含め検討する。	フォーラム開催数	0	0	1	1
産業支援課	31	継続 桶狭間の合戦ウォーキングルート・拠点等の整備事業	【史跡を活用した観光拠点整備事業】 先行型事業によって、観光ルートを策定する。 ウォーキングマップについては、先行型事業の観光マップとの連動が必要となる。 ウェアラブル眼鏡、スマートグラス等のバーチャル体験については、バーチャル素材の開発が必要となる。 いずれの事業も、観光まちづくり事業の継続事業で展開する。	観光関連ウォーキング参加者数	3,000	1,772	3,627	3,500人/年

施策3.とよあけの魅力を高め、訪れる人を増やす

担当課・室	No.		事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	H29	目標値
産業支援課	32	継続	花の街とよあけの推進強化事業	商工会実施の花の講習会を継続的に実施する	講習会等の参加者数	1,000	2,100	2,771	2,000人/年
産業支援課	33	新規	花のふるさと納税事業	豊明花き市場や市内事業者と連携し、ふるさと納税のお礼の品に季節に合わせた花を入れる。併せて前後駅前広場等でふるさと納税「お礼の品」PR活動を実施する。また、駅前では花の販売等を行い、花の街であることもPRする。	ふるさと納税に対する花の送付件数	0	260	99	250件/年
産業支援課	34	新規	中京競馬場を利用した花マーケットの開催事業	豊明市で集客力のある中京競馬場を使ってシティセールスを行うため、とよあけ花マルシェによる出店を行い「豊明市＝花のまち」を来場者に印象付ける。	花マルシェの参加出店数	0	0	2	10回/年
産業支援課	35	新規	情報発信事業(観光事業)	観光Webサイトを作成する。(観光まちづくり継続事業)	観光Webサイト年間閲覧件数	0	0	42,601	2万件/年
秘書広報課	36	新規	ホームページリニューアル事業	①CMS導入→・HPの階層整理が可能となり、情報が取り出しやすくなった。・発信している情報の整理ができた。・スマートフォンへの対応・総務省が推進している「みんなの公共サイト運用モデル JISX8341-3 2016」への対応が可能になった。・平成28年4月から施行となる「障害者差別解消法」にも対応可能になった。あいち情報セキュリティクラウド接続対応のため、H29年度へ予算を繰り越した。H29.6.30にリニューアルHP公開。	年間アクセス数	19万件	18万件	20万件	36万件/年
産業支援課	37	新規	イベント創出事業(サミット・シンポジウムの開催)	自治体交流及び市民PRのためにサミットを実施する。サミットについては、物産展、PRキャラクターショー、観光PRの開催とシンポジウムを開催する。	サミット参加者数	0	0	273	3,000人/年

指標	H26	H28	H29	目標値(H31)
0～14歳の子どもの数	9,749	9,052	8964	10,011人
豊明市の出生率(人口1,000人に対する出生数)	8.1	8	7.7	8.8人
合計特殊出生率	1.42	1.45(H27)	1.44(H28)	1.53
子育てが楽しいと思っている市民の割合	84.5	73.2	84.5%	88.80%
職場で働きやすいと思っている女性の割合	35.4	35.5	38.9%	45.40%

施策1.子どもを安心して産み育てられるまちをつくる

担当課・室	No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	H29	目標値
保育課	38	新規 病後児保育事業	病気回復期の児童を専用施設にて一時保育する	病後児の預かり登録人数	0	141	235	200人(累計)
子育て支援課	39	新規 ネットワーク事業	コーディネーターを配置し、地区担当保健師と共に妊娠前から切れ目のない支援ができるようにする。要支援者については、支援プランを作成する。 また、子育て支援センターすまいるからファミサポ・ママサポを保健センター内に移転する。	支援プラン作成件数	0	31	19	100件/年
保育課	40	新規 休日保育、延長保育事業	土曜日延長保育時間を全園で18:30までに拡大	18:30までの土曜日延長保育実施園数	0	79	100	100%
子育て支援課	41	新規 産後ケア事業、産後健診事業	平成28年4月より母子健康手帳交付時、産後健診(1回)の補助券を発行 産後ケア事業については、29年度以降実施予定	産婦健診助成事業による受診率	0	77.5	98.6	95%
子育て支援課	42	継続 不妊治療への助成事業	一般不妊治療助成限度額本人負担額の1/2の上限額を現行5万円→10万円に変更する。	不妊治療助成件数	64	52	53	65件
保育課	43	未 駅前での子育て世代支援事業	【駅前保育実施事業】 名鉄前後駅前周辺の施設内にて、小規模保育を実施する	前後駅前での保育施設数	0	0	0	1
保育課	44	継続 社会参加への支援事業	子育て世帯の社会参加を促すため、一時保育事業の拡充を図る。 (子育て支援センターの集約による一時保育専用室の再整備化については、施設整備計画や保育士人材確保の観点も含め、再検討する。)	非定型的保育利用件数 ➡非定型的保育の利用延べ人数に変更しました。	304	634	708	960
子育て支援課	45	継続 男性に特化した子育て講座事業	現在マタニティクラス(妊娠期の教室)には、妊婦とパートナーが参加しやすいように土・日曜日等の開催している。しかし、男性に特化した事業ではない。	妊娠期子育て期の親向けの教室(マタニティクラス)参加者のうち男性の占める割合	29.6	34.5	41.2	35%
子育て支援課	45	継続 男性に特化した子育て講座事業	【パパ向け教室の実施回数】 児童福祉課(子育て支援センター)や生涯学習課等と協議し、子育てのパパ向けの教室について検討する。	講座の開催回数	0	0	0	1回/年
産業支援課	46	未 企業への啓発事業	企業へのイクメン・イクボスの考え方浸透をはかるため、さまざまなメディアを使った露出度を向上させる。	広報及びHP、チラシ等によるイクメン・イクボス推進PR回数	0	0	0	4回/年
産業支援課	47	未 婚活支援事業	前後駅前広場活性化事業のひとつとして実施する。 ⇒No.59駅前賑わい創出事業	婚活イベント参加者数	65	0	0	400人(累計)

施策2.子どもが地域とつながり、大人になったときにも地域で活動できるまちをつくる

担当課・室	No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	H29	目標値	
生涯学習課	48	継続	放課後子ども教室事業	市内小学校児童を対象に放課後子ども教室を開校する。児童クラブとの一体型による運用を行い、業務委託することで児童クラブに通う児童にも通いやすくなるなど、拡充を図る。	実施校数	5	5	6	9校
生涯学習課	48	継続	放課後子ども教室事業	趣味や特技を活かした講座の運営や児童の見守りなど、地域の人や保護者等にボランティア登録を推進する。	ボランティア数(人・団体)	18	39	13	40人(団体)
学校教育課	49	新規	土曜学習実施事業	毎月第2・4土曜日の午後、塾に通っていない中学生を対象に基礎的な内容の授業を開催する。	土曜学習参加者人数	0	88	84	60人/年
学校教育課	50	新規	英語活用能力アップ事業	・イングリッシュキャンプの実施 小学生を対象に市内でデイキャンプを、中学生を対象に豊根村の施設や自然を利用したオールイングリッシュでの研修をそれぞれ実施する。 ・星城高等学校で実施される英語検定対策講座に市内小中学校の児童生徒の受検者を増やす	イングリッシュキャンプ参加人数	0	10	29	40人/年
学校教育課	50	新規	同上	同上	延べ参加人数	83	76	56	138人
生涯学習課	51	継続	地域の特性を生かしたスポーツ・文化講座の開設・充実事業	市スポーツクラブ及び指定管理者によりスポーツ教室を実施。指定管理者 9教室、市 2教室を開催。指導者は市内講師を中心に開催、市内施設を巡回し開催する軽スポーツ教室も実施している。	スポーツ教室受講者数	508	495	476	530

施策3.女性が職場や地域で活躍し続けられる環境をつくる

担当課・室	No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	H29	目標値	
産業支援課	52	新規	女性活躍推進セミナーの開催事業	商工会と連携してセミナーを実施する。市民協働課との連携が必要。(女性活躍推進法)	セミナー等参加者数	0	69	69	20人(累計)
とよあけ創生推進室	53	新規	女性の復職支援プログラム事業	保育士資格を持ちながら、現在保育士として働いていない者を対象に、大学等と連携し、1月程度の短期プログラムを開講する。併せて、豊明市内の保育園で短時間勤務保育士として勤務してもらい、再就職の支援をする。 なお、事業を設計する中で、潜在保育士の復職だけではなく、保育に興味がある者、無資格で保育園に勤務している者もセミナーの対象にし、豊明の保育の質及び量の確保に重点を置いて実施している。	プログラムを利用して復職した人の数	0	1	2	40人(累計)

暮らしの満足創生プロジェクト ～医療環境、公共交通などを充実し、暮らしの満足度の高いまちをつくる～

指標	H26	H28	H29	目標値(H31)
医療や福祉施設、制度の利用者の満足度	49.6	54.9	56.2%	58.90%
市内の移動がしやすくなったと思う市民の割合	59.3	59.8	60.3%	66.50%
自分達の考えが地域の活動に取り入れられている	11.1	17.7	13.4%	22.20%

施策1.市民が安心できる医療や福祉の戦略を多様な主体者が連携して実行されるよう整備する

担当課・室	No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	H29	目標値
健康長 寿課	54	いきいき笑顔ネットワーク 事業	高齢者の医療・介護等に関する情報を、支援にあたる医療介護保健の分野の専門職で共有するためのICTネットワークを整備・運用する。これにより、医療介護職の情報共有が密になり、多職種によるチーム支援が可能になっている。 将来的には、他市との連携、本人家族等がアクセスできるポータルサイトの整備、医療介護情報のデータベース化、分析ができるようにする。	ICTで情報共有できている患者(高齢者)数	392	575	660	600人(累計)
健康長 寿課	55	医療・福祉・高齢者等の生活 支援拠点整備事業(けやきいき いきプロジェクト事業)	豊明団地を医療福祉の拠点とするべく、行政・UR・藤田保健衛生大学が連携して取り組みをすすめている。団地内には、大学が住民の健康相談窓口として「まちかど保健室」を運営。大学の学生が約60名が団地に居住し、コミュニティ活動に参加している。平成27年度に「北部地域包括支援センターブランチ」を設置。「豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし」を、平成29年7月に業務開始している。本事業における医療介護連携、体制による取り組みは、団地だけでなく、市内全域、や隣接町までに波及している。	高齢者等の相談件数	0	831	1479	500人/年

施策2.自然を確保しながら生活に不自由のない街をつくる

担当課・室	No.	事業名	事業内容	KPI ※ 事業実施による成果指標 (アウトカム)	H26	H28	H29	目標値
産業支援課	56	新規 駅前賑わい創出事業	前後駅前広場で、地元事業者等の有志を中心とした花をモチーフにしたイベントやマルシェなど地域活性化イベントを年6回実施し、その運営費を委託する。 将来的には、法人化するなど自主的な運営を目指す。	マルシェの参加出店数	0	14	27	80店(累計)
市民課・市役所出張所	57	新規 前後駅周辺の都市機能、住民サービス機能、市民交流機能等の充実事業	図書館で実施している出張所を前後駅前へ移転し、住民票の発行等市民課の業務以外の市役所の行政サービスのなかで移転できる物を精査し業務を行う。 なお、市民課以外の業務として税務課、保険医療課、福祉事務所各部門等を想定している。	出張所での証明発行率	0	8	8	20%
産業支援課	58	新規 駅前活性化事業	行政を始めとする多くの団体での駅前活性化イベント等の開催により、駅前の魅力を再度喚起し集客率を向上させる。それにより、駅前が常ににぎわう環境を創造する。	パルネス来場者数	1,624千人	1,496千人	1,447千人	1,800千人/年
子育て支援課	59	継続 医療施設の充実事業	市内で出産・子育てをするのに必要な医療施設(小児科・産婦人科)の施設数を充実する。	小児科、産婦人科の施設数	3	5	5	5
とよあけ創生推進室	60	新規 地域公共交通の利便性向上事業	・地域公共交通網形成計画の策定 ・コミバスの路線再編	コミバス利用者数	15万人	17万人	18万人	17万人/年
防災防犯対策室	61	新規 コンビニAED設置事業	24時間営業のコンビニエンスストアにAEDを設置する。	24時間営業のコンビニのAED設置率	0	100	100	100%
市民協働課	62	継続 まちづくりNPO支援事業	【市民・コミュニティ提案型まちづくり事業】 市民提案型まちづくり事業、コミュニティ提案型まちづくり事業を継続して支援する。	年間支援件数	6	11	10	16件/年
環境課	63	継続 再生可能エネルギー推進事業	現在、エネルギーの地産地消を目指す市主導の新電力事業会社の設立等は考えておりません。再生可能エネルギーへの転換(=新エネルギーシフト)を目指した施策としては、住宅用太陽光発電システム等設置費補助金を設けており、新エネルギーシフトを実践する市民に設置費用の一部補助する事業を継続します。(補助金額:エネファーム一律5万円)	エネファーム(燃料電池)システム導入補助件数	1	12	20	50件(累計)

愛知県
大金星のまち

豊明市



よしもとくん

◆ 事業者支援ガイド ◆



「桶狭間今川義元血戦」楊齋延一画



のぶながくん



愛知県豊明市
豊明市商工会

★補助制度のご案内①★

～豊明市では事業者様の設備投資などを支援する制度を設けています～

【製造業】豊明市企業再投資促進補助金（常用雇用者数25名以上）	
補助対象者	<p>【共通要件】 ※新あいち創造産業立地補助金（Aタイプ）に対応 豊明市内において工場等を10年以上、かつ、愛知県内において20年以上立地し、以下の対象分野に該当する工場等の新增設を行う企業</p> <p>【大企業】 ■投資規模要件 補助対象経費が25億円以上 ■雇用要件 常用雇用者数が100名以上</p> <p>【中小企業】 ■投資規模要件 補助対象経費が1億円以上 ■雇用要件 常用雇用者数が25名以上</p>
工場等の対象分野	<p>・自動車関連、航空宇宙関連、環境・新エネルギー関連、健康長寿関連、情報通信関連、ロボット関連等</p> <p>・愛知県の産業集積の推進に関する基本指針に基づく東尾張地域の集積業種（製造業に限る）</p>
補助対象経費	土地を除く固定資産取得費用（新增設に係る工場等建設費及び償却資産の取得費用）
補助率	10%以内（県と市の負担割合 県50%、市50%）
限度額	10億円
申請期限	工事着工の30日前まで
問合せ：産業支援課 TEL 0562-92-8332	

愛知県の産業集積の推進に関する基本指針に基づく東尾張地域の集積業種

産業名	日本標準産業分類上の業種名
機械・金属関連産業	11 繊維工業、16 化学工業（161 化学肥料、1624 塩、165 医薬品及び166 化粧品・歯磨・その他の化粧品調整品を除く）、18 プラスチック製品、19 ゴム製品、22 鉄鋼製品、23 非鉄金属、24 金属製品、25 はん用機械器具、26 生産用機械器具、27 業務用機械器具、28 電子部品・デバイス・電子回路、29 電気機械器具、30 情報通信機械器具、323 時計・同部分品
輸送機械関連産業	11 繊維工業、16 化学工業（161 化学肥料、1624 塩、165 医薬品及び166 化粧品・歯磨・その他の化粧品調整品を除く）、18 プラスチック製品、19 ゴム製品、21 窯業・土石製品、22 鉄鋼製品、23 非鉄金属、24 金属製品、25 はん用機械器具、26 生産用機械器具、27 業務用機械器具（274 医療用機械器具及び医療用品を除く）、28 電子部品・デバイス・電子回路、29 電気機械器具（2962 医療用電子応用装置及び2973 医療用計測器を除く）、30 情報通信機械器具、31 輸送用機械器具、323 時計・同部分品
繊維関連産業	11 繊維工業、25 はん用機械器具、26 生産用機械器具、27 業務用機械器具（274 医療用機械器具・医療用品）
健康長寿関連産業	9 食料品、10 飲料・たばこ・飼料（105 たばこを除く）、11 繊維工業、12 木材・木製品（家具を除く）、13 家具・装飾品、14 ハルブ・紙・紙加工品、16 化学工業（161 化学肥料を除く）、18 プラスチック製品、19 ゴム製品、21 窯業・土石製品、23 非鉄金属、24 金属製品、27 業務用機械器具、28 電子部品・デバイス・電子回路、29 電気機械器具、30 情報通信機械器具、31 輸送用機械器具、323 時計・同部分品、3297 眼鏡（枠を含む）
新エネルギー関連産業	11 繊維工業、16 化学工業（161 化学肥料、1624 塩、165 医薬品及び166 化粧品・歯磨・その他の化粧品調整品を除く）、21 窯業・土石製品、22 鉄鋼製品、24 金属製品、25 はん用機械器具、26 生産用機械器具、27 業務用機械器具（274 医療用機械器具・医療用品を除く）、28 電子部品・デバイス・電子回路、29 電気機械器具（2961 X線装置、2962 医療用電子応用装置及び2973 医療用計測器を除く）、30 情報通信機械器具、31 輸送用機械器具、323 時計・同部分品
農商工連携関連産業	9 食料品、10 飲料・たばこ・飼料、11 繊維工業、12 木材・木製品、13 家具・装飾品、16 化学工業、18 プラスチック製品、24 金属製品、25 はん用機械器具、26 生産用機械器具、27 業務用機械器具（274 医療用機械器具・医療用品を除く）、28 電子部品・デバイス・電子回路、29 電気機械器具（2961 X線装置、2962 医療用電子応用装置及び2973 医療用計測器を除く）、30 情報通信機械器具、323 時計・同部分品及び3297 眼鏡（枠を含む）

【製造業】豊明市中小企業再投資促進補助金（常用雇用者数25名未満）	
補助対象者	<p>豊明市内において立地し、工場等の新增設を行う企業</p> <p>■投資規模要件 補助対象経費が3,000万円以上 ■雇用要件 常用雇用者数が25名未満</p>
工場等の対象分野	指定なし
補助対象経費	土地を除く固定資産取得費用（新增設に係る工場等建設費及び償却資産の取得費用）
補助率	5%以内
限度額	1,000万円
申請期限	工事着工の30日前まで
問合せ：産業支援課 TEL 0562-92-8332	

【製造業】豊明市（愛知県）21世紀高度先端産業立地補助金			
【共通要件】 ※愛知県21世紀高度先端産業立地補助金に対応 以下の対象分野に該当する工場等の新增設を行う企業			
補助対象者		【大企業】	
		【中小企業】	
補助対象者	工場	<p>■投資規模要件 補助対象経費が50億円以上</p> <p>■雇用要件 新規常用雇用者数が20名以上</p>	<p>■投資規模要件 補助対象経費が2億円以上</p> <p>■雇用要件 新規常用雇用者数が5名以上</p>
	研究所	<p>■投資規模要件 補助対象経費が5億円以上</p> <p>■雇用要件 なし</p>	<p>■投資規模要件 補助対象経費が2億円以上</p> <p>■雇用要件 なし</p>
工場等の対象分野	航空宇宙関連、環境・新エネルギー関連、健康長寿関連、情報通信関連、先端素材関連、ナノテクノロジー関連、バイオテクノロジー関連等		
補助対象経費	土地を除く固定資産取得費用（新增設に係る工場建設費及び償却資産の取得費用）		
補助率		【大企業】	【中小企業】
	工場	10%以内	10%以内 12%以内（健康長寿関連のみ）
	研究所	（既存の工場内の設備を一新等する場合は5%以内） 20%以内（既存の研究所内の設備を一新等する場合は10%以内）	
限度額	100億円（300億円以下の投資額は10億円）		
申請期限	工事着工の30日前まで		
問合せ：産業支援課 TEL 0562-92-8332（中小企業が工場を建設する場合） 愛知県産業立地通商課 TEL 052-954-6372（上記以外）			

★工場立地への支援★

企業立地ワンストップ窓口

豊明市では、工場などの建設を検討されている事業者様に対し、開発・建築、農地転用や補助制度の適用など様々な相談に要する時間を短縮し、事業者様の負担を軽減できるよう1か所の窓口で対応するワンストップ窓口を行っています。

内容

関係部署を招集し計画されている用地への立地可能性や、補助制度について情報の提供を行います。立地に係る各種手続きについては個別に行っていただきますが、手続きがスムーズに進むようできる限りサポートさせていただきます。

対象条件

市街化調整区域内での立地を検討されており、下記の要件を提示していただける事業者様です。
①立地候補地 ②開発面積および建築面積 ③業種

注意事項

- ・本窓口は立地可能性についての情報提供を行うものであり、各種許可を保証するものではありません。
- ・相談内容によっては、ワンストップ窓口ではなく個別の対応となる場合があります。
- ・お急ぎの場合は、個別に各担当窓口へご相談ください。

申込方法

事前に電話にてご相談ください。

問合せ先

産業支援課 TEL 0562-92-8332

★ 補助制度のご案内② ★

【店舗：小規模企業者】豊明市店舗等水まわり改修工事費補助金 ※平成32年3月31日まで	
【要件】	【金額】
①市内で営業している店舗の事業主であること。 ②トイレ改修、厨房設備のうち水まわりに係る20万円以上の工事を行うこと。 ③市内の事業者または個人施工業者が工事を施工すること。 ④工事着手前（1月31日まで）に申請を行うこと。	工事に要した額の トイレ：100分の50 厨房施設：100分の30 (限度額20万円)
問合せ：産業支援課 TEL 0562-92-8332	

【全業種】豊明市社宅整備支援補助金	
【要件】	【金額】
①従業員のための社宅を新たに取得した事業主（法人）であること。 ②新たに賃借、新築により取得したものであること。 ③社宅に住む従業員が、市外から転入し、居住するものであること。 ④従業員が居住した月の翌月から対象年度の3月末日までに申請を行うこと。	賃貸：家賃及び共益費 建築購入：取得に要する費用 (土地及び償却資産を除く) 1戸当たり10万円 (1補助対象者につき100万円)
問合せ：産業支援課 TEL 0562-92-8332	

【店舗】豊明市空き店舗活用事業費補助金	
【要件】	【金額】
①対象者 ・商店街振興組合又は事業共同組合を組織している商店街 ・10店舗以上で組織する任意の商業団体で規約等を有する者等 ②対象施設 ・空き店舗を中心に半径100m以内に5店舗以上の商店が集合している区域 ・過去に商店、事務所として使われていて1ヶ月以上利用されていない施設 ・アンテナショップ、展示場など商店街の活性化に役立つ施設 ③以下の条件を全て満たす事業 ・店舗の1階部分で主な活動を行うもの ・週5日以上営業し、客が直接店舗に来るもの ・空き店舗の借上げに係る契約期間が1年以上あるもの	店舗の整備費及び家賃(敷金、礼金、共益費等は除く)の2分の1 (限度額50万円)
問合せ：産業支援課 TEL 0562-92-8332	

【全業種】豊明市都市緑化推進事業費補助金	
【要件】	【金額】
①市街化区域及び市街化調整区域内の既存集落において、民有の敷地又は建物の緑化を進める事業 ・緑化面積がおおむね100㎡以上(生垣は延長50m以上)であること。 ・緑化施設評価表による基準(道路から眺望できる・不特定の人が入り込んで見ることが出来る等)を満たすものであること。 ・緑化工法又は緑化資材の営業を目的としたものでないこと。等 ②事業着手前に申請を行うこと。 ③緑化事業を行う敷地等について、他の法令等による緑化義務がある場合は、その義務の範囲内に限り、補助の対象としない。	対象経費の2分の1の額とし、次の条件の範囲内とする。 ・屋上緑化及び壁面緑化は、緑化面積に1㎡あたり3万円を乗じた額 ・駐車場緑化は、緑化面積に1㎡あたり2万円を乗じた額 ・空地緑化は、緑化面積に1㎡あたり1万5千円を乗じた額 ・生垣設置は、生垣の延長に1㎡あたり5千円を乗じた額 (限度額500万円)
問合せ：都市計画課 TEL 0562-92-1114	

★ その他の優遇制度 ★

信用保証料助成制度	
利用した融資制度	助成金額
豊明市よりお申し込みの小規模企業等振興資金及び豊明市で認定を受けた愛知県経済環境適応資金サポート資金セーフティネット等により、愛知県信用保証協会へ支払った信用保証料の一部を助成	
小規模企業等振興資金融資制度 ・小口資金 ・通常資金	保証協会に支払った信用保証額の60%又は10万円のどちらか低い額
経済環境適応資金融資制度 ・セーフティネット ・創業等支援資金	保証協会に支払った信用保証額の60%又は20万円のどちらか低い額
問合せ：産業支援課 TEL 0562-92-8332	

小規模事業者経営改善資金利子助成金制度	
利用した融資制度	助成金額
豊明市商工会より(株)日本政策金融公庫の小規模事業者経営改善資金の融資を受けた方に対し、支払った利子の一部を助成	
小規模事業者経営改善資金	融資を受けた日から1年間に支払った利子の1/2以内又は10万円のどちらか低い額
問合せ：豊明市商工会 TEL 0562-93-6666 産業支援課 TEL 0562-92-8332	

★ その他の支援機関 ★

海外ビジネス展開への支援

日本貿易振興機構（ジェトロ）

内容
海外との取引や、海外進出を検討している企業の方々、また、海外進出後に問題を抱えている企業の方々に対し、情報提供・サポート等の海外展開支援を行っています。 ・ご相談の受付：経験豊かなアドバイザーがご相談にお応えします。 ・海外での調査実施（一部有料）：国内では得られにくい海外現地の情報を提供します。 ・海外ビジネスの展開・拡大：海外での有力展示会・商談会への参加支援等

利用方法 ジェトロのホームページをご覧ください、下記までお問い合わせください。
<https://www.jetro.go.jp/>

問合せ 愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38 愛知県産業労働センター18階
日本貿易振興機構 名古屋貿易情報センター TEL 052-589-6210



IoT活用への支援

愛知県IoT活用相談窓口

内容
愛知県では、経済産業省等が推進する「地方版IoT推進ラボ」の選定を受け、地域企業に対してIoTの活用やプロジェクト創出等の促進を図る「愛知県IoT推進ラボ」を運営しています。 その取組みの一環としてIoT相談窓口を設け、専門家により製造現場へのIoTの導入・活用に関する課題を解決いたします。

利用方法 詳しくは愛知県ホームページをご覧ください。
<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/jisedai/>

問合せ 愛知県産業労働部産業振興課次世代産業室 次世代産業第二グループ
TEL 052-954-6352



立地に伴う主な関係法令一覧

	手続き	関係法令	内容	窓口	時期						
用地取得	開発行為の許可申請	都市計画法	建築物や特定工作物の建築の用に供する目的で、開発行為(土地の区画形質の変更)を行う場合 <table border="1"> <tr> <td>区域</td> <td>面積要件</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>500m以上</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>全て</td> </tr> </table>	区域	面積要件	市街化区域	500m以上	市街化調整区域	全て	県建築建設事務所 市都市計画課	随時
	区域	面積要件									
	市街化区域	500m以上									
	市街化調整区域	全て									
	農用地区域からの除外申請	農業振興地域の整備に関する法律	農用地区域内において開発行為を行う場合	市農業政策課	市が設定する申請期限まで(1~4回程度)						
農地転用の届出	農地法	農地に新規立地する場合	市農業委員会	農業委員会が設定する申請期限まで(ほぼ毎月)							
森林開発の許可申請	森林法	地域民有林内において1ha以上の開発行為を行う場合 地域民有林内において1ha未満の開発行為を行う場合	県森林保安課 県尾張農林水産事務所 市農業政策課	随時							
砂防指定地内の許可申請	砂防法	砂防指定地内において工作物の設置等を行う場合	県建築建設事務所	随時							
宅地造成工事の許可申請	宅地造成等規制法	宅地造成工事規制区域内で宅地造成工事を行う場合	県建築建設事務所 市都市計画課	随時							
事後	土地取引の届出	国土利用計画法	一定面積以上の土地売買等の契約を締結した場合 <table border="1"> <tr> <td>区域</td> <td>面積要件</td> </tr> <tr> <td>市街化区域</td> <td>2千㎡以上</td> </tr> <tr> <td>市街化調整区域</td> <td>5千㎡以上</td> </tr> </table>	区域	面積要件	市街化区域	2千㎡以上	市街化調整区域	5千㎡以上	市企画政策課	契約締結日を含めて14日以内
	区域	面積要件									
市街化区域	2千㎡以上										
市街化調整区域	5千㎡以上										
建築確認申請	建築基準法	一定規模以上の建築物の新築・増改築等を行う場合	県建築指導課 市都市計画課	随時							
工事建設前	特定工場の届出	工場立地法	特定工場の新設・増設を行う場合 <table border="1"> <tr> <td>業種</td> <td>製造業 電気・ガス・熱供給業(水力・地熱・太陽光発電を除く)</td> </tr> <tr> <td>規模</td> <td>敷地面積9,000㎡以上又は 建築面積3,000㎡以上</td> </tr> </table>	業種	製造業 電気・ガス・熱供給業(水力・地熱・太陽光発電を除く)	規模	敷地面積9,000㎡以上又は 建築面積3,000㎡以上	市産業支援課	90日前(30日を日毎に短縮可)		
	業種	製造業 電気・ガス・熱供給業(水力・地熱・太陽光発電を除く)									
	規模	敷地面積9,000㎡以上又は 建築面積3,000㎡以上									
	雨水浸透阻害行為許可申請	特定都市河川浸水被害対策法	田畑など締め固められていない土地で500㎡以上の開発を行う場合	県建築建設事務所 市土木課	造成工事着手前						
	公害防止に係る諸手続	大気汚染防止法	公害を発生するおそれのある施設を設置する場合	尾張県民事務所 環境保全課	60日前						
水質汚濁防止法		公害を発生するおそれのある施設を設置する場合	市環境課	施設設置 30日前 建設作業 7日前							
騒音規制法		規制地域内で特定の施設を設置または工事作業を行う場合	市環境課	施設設置 30日前 建設作業 7日前							
	振動規制法	規制地域内で特定の施設を設置または工事作業を行う場合	市環境課	施設設置 30日前 建設作業 7日前							

※事前協議が必要な手続きについては、事前協議が完了し、申請書類を提出した後、許可までに半年以上の期間を要するものもあります。
 ※この表は主な規制のみ記載しております。

工場立地法上の特定工場の要件

特定工場に該当する場合は、敷地面積に対する以下の施設面積の割合が定められています。

	対象施設	面積率
生産施設	製造業における物品の製造工程等を形成する機械又は装置及びそれらが設置される建築物等	業種によって30~65%以下(別表)
緑地	樹木が生育する区画された低木又は芝その他の地被植物で表面が覆われている } 土地又は建築物屋上等緑化施設	20%以上
環境施設	噴水、池などの修景施設、屋外運動場、雨水浸透施設、太陽光発電施設など+緑地面積	25%以上

別表：敷地面積に対する生産施設面積の割合

第1種	化学肥料製造業のうちアンモニア製造業及び尿素製造業、石油精製業、コークス製造業並びにボイラ・原動機製造業	30%
第2種	伸鉄業	40%
第3種	窯業・土石製品製造業(板ガラス製造業、陶磁器・同関連製品製造業、ほうろく鉄器製造業、七宝製品製造業及び人造石製造業を除く)	45%
第4種	鋼管製造業及び電気供給業	50%
第5種	てんぷん製造業、冷間ロール成型形鋼製造業	55%
第6種	石油製品・石炭製品製造業(石油精製業、潤滑油・グリース製造業(石油精製業によらないもの)及びコークス製造業を除く)及び高炉による製鉄業	60%
第7種	その他の製造業、ガス供給業及び熱供給業	65%

豊明市商工会 事業者支援策のご案内

★ 経営発達支援事業 ★

小規模事業者の持続的発展を図ることを目的として、本会は小規模事業者の事業計画作成やその着実な実施を伴う的に支援します。また、技術の向上や新たな事業分野への挑戦、創業、事業承継への支援も行います。(当該支援を行う本会の事業計画が2015年11月に経済産業大臣に認定されました。)

★1 補助金の獲得や、売上・利益増加の土台となる経営計画の策定をサポートします!

販路開拓、新商品開発、売上拡大、新事業展開、新店舗開店、技術力の強化、創業など、事業者・創業者の皆様の「○○○したい」事について、商工会は事業計画策定・具体化に向けて、経営分析・計画策定・実施支援・フォローまで、継続的に面談を重ね伴走的に支援します。(支援は無料)

夢の具体化へは国の補助金制度の活用が有効です。

※下記補助金制度等の公募状況は豊明市商工会へお問い合わせください。(電話：0562-93-6666)

小規模事業者持続化補助金 ※内容は変更になる場合があります 公募は不定期

概要	経営計画に基づき、商工会の支援を受けながら行う、小規模事業者による創意工夫を凝らした地道な販路開拓等に要する経費の一部を補助
補助対象者	常時使用する従業員の数が下記の人数の事業者 ・卸売業、小売業、サービス業(宿泊業・娯楽業以外)5人以下 ・サービス業(宿泊業、娯楽業)、製造業その他20人以下
補助金額・補助率	補助上限額 50万円(補助率 2/3) 追記：条件によって上限額が変わります。
対象経費	新たな販促用チラシやホームページの作成等の広告宣伝、集客力を高める店舗改装、展示会出展、商品パッケージや包装の変更等

ものづくり・サービス補助金 ※内容は変更になる場合があります 公募は不定期

概要	経営力向上に資する革新的サービス開発や、試作品開発、生産プロセスの改善などを行うための設備投資等の一部を補助
補助対象者	中小企業者
補助金額・補助率	①一般型：補助上限 1,000万円 補助率 1/2 以内 設備投資が必要 ②小規模型：補助上限 500万円 補助率 2/3 以内 設備投資(必須ではない) ③企業間データ活用型：補助上限 1,000万円 補助率 2/3 以内 設備投資が必要
対象経費	機械装置費、技術導入費、専門家経費、運搬費等

創業補助金 ※内容は変更になる場合があります 公募は不定期

概要	新たな需要や雇用を創出する創業に要する費用の一部を補助
補助対象者	産業競争力強化法における認定市区町村(豊明市は該当)又は認定連携創業支援事業者による特定創業支援事業(講習会等)に参加した創業者で新たに従業員を1名以上雇い入れる中小企業者
補助金額・補助率	補助金額の範囲：50万円以上~200万円以内 補助率：1/2
対象経費	人件費や設備費等

★2 資金調達をサポートします!

当商工会が計画認定を受けたことにより、小規模事業者の皆様は「小規模事業者経営発達支援資金」という新しい融資制度を利用していただくことが可能です。これは、商工会による事業計画の策定支援を受けた小規模事業者者に通常より低い利率で、上限7,200万円まで融資を受けることが可能となります。(無担保・無保証制度ではありません。)
 その他、無担保・無保証・低利率で、上限2,000万円の「小規模事業者経営改善資金」も利用可能です。

詳細はお問い合わせください。(豊明市商工会 TEL 0562-93-6666)

★お問い合わせ窓口

お問合せの内容	担当部署	電話番号
ごみの出し方、リサイクル、騒音・振動の届出など	環境課	0562-92-1113
道路、河川等の占用、承認工事、砂防、官民境界立会い、雨水浸透阻害行為など	土木課	0562-92-1116
開発許可、建築確認、屋外広告物、緑化工事補助、宅地造成に関する工事、都市公園の占用許可など	都市計画課	0562-92-1114
下水道に関すること	下水道課	0562-92-1126
上水道に関すること	愛知中部水道企業団	0561-38-0030
農業委員会への申請、農業振興地域の確認、森林の伐採届	農業政策課	0562-92-8312
入札、請負契約	財政課	0562-92-8314
企業支援制度、商工業に係る各種助成制度など	産業支援課	0562-92-8332

★豊明市の統計資料

人口・面積

※平成30年4月1日現在

人口

総数：68,728人（男：34,882人 女：33,846人）
世帯数：29,491世帯
面積：23.22km²

農業の状況

※農林業センサス（平成27年2月1日）

農家数	販売農家就業人口	経営耕地面積
737戸	443人	319ha

商業の状況

※経済センサス・活動調査（平成28年6月1日）

事業所数	従業員数	年間商品販売額
397件	3,616人	1,313億7,100万円

工業の状況

※工業統計調査（平成29年6月1日）

事業所数	従業員数	製造品出荷額等
150件	5,584人	1,851億4,900万円

★豊明市への交通アクセス



電車でお越しの方

From Nagoya Station, Tokyo Station & Osaka Station

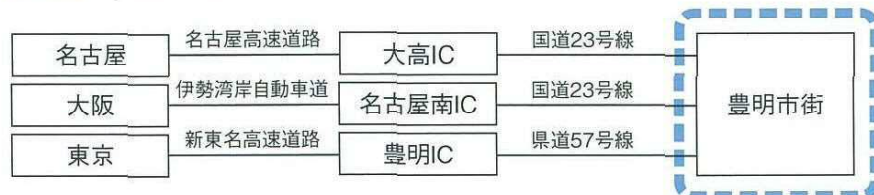


名古屋駅から
市内3駅
約20分



自動車・タクシーでお越しの方

By Car & Taxi



各インターからの
抜群のアクセスで
全国と接続

編集

豊明市経済建設部 産業支援課 TEL.0562-92-8332

〒470-1195 豊明市新田町子持松1番地1 E-mail:sangyo@city.toyoake.lg.jp
発行：平成30年5月 URL:http://www.city.toyoake.lg.jp/

名古屋都市計画区域

豊明市都市計画図

(計画地区別)	豊明市計画地区 第1号 豊明市計画地区 第2号 豊明市計画地区 第3号 豊明市計画地区 第4号 豊明市計画地区 第5号 豊明市計画地区 第6号 豊明市計画地区 第7号 豊明市計画地区 第8号 豊明市計画地区 第9号 豊明市計画地区 第10号 豊明市計画地区 第11号 豊明市計画地区 第12号 豊明市計画地区 第13号 豊明市計画地区 第14号 豊明市計画地区 第15号 豊明市計画地区 第16号 豊明市計画地区 第17号 豊明市計画地区 第18号 豊明市計画地区 第19号 豊明市計画地区 第20号 豊明市計画地区 第21号 豊明市計画地区 第22号 豊明市計画地区 第23号 豊明市計画地区 第24号 豊明市計画地区 第25号 豊明市計画地区 第26号 豊明市計画地区 第27号 豊明市計画地区 第28号 豊明市計画地区 第29号 豊明市計画地区 第30号 豊明市計画地区 第31号 豊明市計画地区 第32号 豊明市計画地区 第33号 豊明市計画地区 第34号 豊明市計画地区 第35号 豊明市計画地区 第36号 豊明市計画地区 第37号 豊明市計画地区 第38号 豊明市計画地区 第39号 豊明市計画地区 第40号 豊明市計画地区 第41号 豊明市計画地区 第42号 豊明市計画地区 第43号 豊明市計画地区 第44号 豊明市計画地区 第45号 豊明市計画地区 第46号 豊明市計画地区 第47号 豊明市計画地区 第48号 豊明市計画地区 第49号 豊明市計画地区 第50号 豊明市計画地区 第51号 豊明市計画地区 第52号 豊明市計画地区 第53号 豊明市計画地区 第54号 豊明市計画地区 第55号 豊明市計画地区 第56号 豊明市計画地区 第57号 豊明市計画地区 第58号 豊明市計画地区 第59号 豊明市計画地区 第60号 豊明市計画地区 第61号 豊明市計画地区 第62号 豊明市計画地区 第63号 豊明市計画地区 第64号 豊明市計画地区 第65号 豊明市計画地区 第66号 豊明市計画地区 第67号 豊明市計画地区 第68号 豊明市計画地区 第69号 豊明市計画地区 第70号 豊明市計画地区 第71号 豊明市計画地区 第72号 豊明市計画地区 第73号 豊明市計画地区 第74号 豊明市計画地区 第75号 豊明市計画地区 第76号 豊明市計画地区 第77号 豊明市計画地区 第78号 豊明市計画地区 第79号 豊明市計画地区 第80号 豊明市計画地区 第81号 豊明市計画地区 第82号 豊明市計画地区 第83号 豊明市計画地区 第84号 豊明市計画地区 第85号 豊明市計画地区 第86号 豊明市計画地区 第87号 豊明市計画地区 第88号 豊明市計画地区 第89号 豊明市計画地区 第90号 豊明市計画地区 第91号 豊明市計画地区 第92号 豊明市計画地区 第93号 豊明市計画地区 第94号 豊明市計画地区 第95号 豊明市計画地区 第96号 豊明市計画地区 第97号 豊明市計画地区 第98号 豊明市計画地区 第99号 豊明市計画地区 第100号
---------	---

豊山周辺地区
【産業系 約45ha】

《地区の特徴》
 (都) 瀬戸大府東海線、若王子川、東郷町と隣接
 大半が雑木林と農地（土地改良地区を含む）
 地権者（300名弱）による土地区画整理事業
 《経緯と予定》

検討開始
 地権者説明会、まちづくり勉強会
 発起人会の結成、仮同意収集等
 計画協議、地区界測量等
 自然環境影響調査、事業計画案・定款案の作成等
 市街化区域編入、本同意収集等

間米南部地区
【住居系 約20ha】

《地区の特徴》
 前後駅から概ね1km圏内
 藤田保健衛生大学との間に立地
 既存集落が存在（建付地約60戸）
 地権者（約150名）による土地区画整理事業
 《経緯と予定》

発起人会結成、仮同意収集
 現況測量、計画協議等
 地区界測量、区画整理設計等
 事業計画案・定款案の作成等
 市街化区域編入、本同意収集等

柿ノ木周辺地区
【産業系 約17ha】

《地区の特徴》
 (都) 瀬戸大府東海線、(都) 名古屋岡崎線と隣接
 大半が土地改良により整備された農地
 地権者（79名）からの買収による開発行為
 市街化調整区域地区計画を想定
 《経緯と予定》

検討開始
 地権者説明会、事業同意収集
 整備主体の選定、地区計画案作成
 測量・詳細設計、用地取得等
 都市計画決定、工事着手等

寺池地区
【住居系 約6ha】

《地区の特徴》
 市役所から概ね1km圏内
 (都) 瀬戸大府東海線に隣接
 沿道に生活利便施設の誘致を検討中
 地権者（約30名）による土地区画整理事業
 《経緯と予定》

発起人会結成、仮同意収集
 現況・地区界測量
 計画協議・区画整理設計等
 事業計画案、定款案の作成、市街化区域編入等
 本同意収集等

凡 例	
——	都市計画区域境界
——	市界
——	市街区域境界
——	都市計画道路
——	（完工済地区）
——	駅前広場
——	立休所施設及び橋
——	市街化区域境界
——	用途地域境界
——	都市公園
——	汚物処理場
——	防火地域（商業地域の全域）
——	準防火地域（商業地域の全域）
——	地区計画区域
——	再開発利用地区
用途地域の種類	
第一種住居地域	第一種住居地域
第二種住居地域	第二種住居地域
近隣商業地域	近隣商業地域
商業地域	商業地域
準工業地域	準工業地域
工業地域	工業地域
臨海工業地域	臨海工業地域

※第一種住居地域利用地区は、10㎡未満の敷地があります。
 ※本図の図例は、地籍図と一致しない場合があります。その場合は地籍図を優先して表示しております。
 ※その他詳細な図例については、本図の裏面に掲載しております。

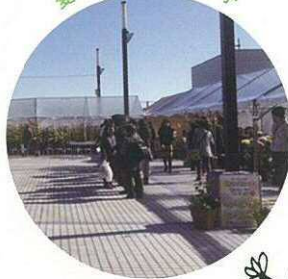
豊明市には東洋一の花きの市場があり、
 全国から花が集まり全国に花が出荷されています。
 花の街として豊明市をPRするため、花に親しむイベントや、
 花にちなんだ花商品が点在する豊明市全体を、
 花の市場(マルシェ)として発信しながら、花に親しむ暮らしをお届けします。



とよあけ
 花マルシェ
 プロジェクトとは...

とよあけ花マルシェ事業の
 中心となる団体で、
 市内事業所等で構成
 されています。

変わり菊まつりの様子



とよあけ花マルシェ 2017年イベント

5月

珍種
 カキツバタまつり

11月

変わり菊まつり

江戸菊の花芸



そのほかに花の寄せ植え、フラワーアレンジメントなど、様々な催しを予定しています!新しい情報は、
 豊明市広報及ホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。 <http://www.city.toyoake.lg.jp>

主催/とよあけ花マルシェプロジェクト

とよあけ
 花マルシェMAP



- | | | |
|------------------|---------|---------------------------|
| A お菓子の森くるみ | F 鶴の家 | K Pasta CaféDining Sonoja |
| B ハム・ソーセージ工房ヴァルム | G 紀おり | L merry cafe |
| C ラ・レネット | H 雅 | M マリーヌ洋菓子店 |
| D はるのうさぎ | I ナカノ金物 | N 三寿園 |
| E ひじりや | J 濱蛸 | O ブラウンビーンズ |

☕ **とよあけ花マルシェプロジェクト** 🍴

	団体名	住所	電話番号
リーダー	愛知豊明花き流通協同組合	豊明市阿野町三本木121	0562-96-1199
メンバー	⑥ 紀おり	豊明市新田町吉池7-5	0562-92-0665
	⑦ お菓子の森くるみ	豊明市間米町敷田1271-106	0562-85-1963
	⑧ 鶴の家	豊明市新田町吉池1-2	0562-93-4567
	⑨ ナカノ金物	豊明市三崎町中ノ坪9-11	0562-93-1017
	⑩ ハム・ソーセージ工房ヴァルム	豊明市間米町燗坂1540番地	0562-93-4186
	⑪ 濱崎	豊明市三崎町中ノ坪27-1	070-6580-8880
	⑫ はるのうさぎ	豊明市西川町善波1-7	0562-85-5408
	⑬ Pasta Café Dining Sonora	豊明市三崎町高鴨5-13 1F	0562-93-0090
	⑭ ひびりや	豊明市新田町錦14-3	0562-93-0555
	⑮ ブラウンビーンズ	豊明市新栄町5-41	0562-85-3988
	⑯ マリーヌ洋菓子店	豊明市新田町下一の割72-11	0562-93-1251
	⑰ H 雅	豊明市新田町吉池21-9	0562-92-9200
	⑱ merry cafe	豊明市新田町子持松7-18	0562-91-3230
	⑲ ラ・レネット	豊明市西川町荒巻64-4	0562-95-2010
サポーター	あいち尾東農業協同組合	豊明市沓掛町西田12	0562-92-3892
	ウォーカープラス		
	ガールスカウト		
	⑳ 三寿園	豊明市阿野町西ノ海戸34	0562-92-0737
	豊明菊花会		
	豊明市商工会	豊明市三崎町中ノ坪5-1	0562-93-6666
	豊明植物愛好会		
	豊明郵便局	豊明市阿野町滑1-8	0562-97-6923
	名古屋鉄道(株)	豊明市前後町善江1634-2	0562-97-1395
	日本ガーデンデザイナー協会		
	花苗生産組合		
	ピアゴ豊明店	豊明市三崎町井ノ花5-1	0562-92-6441
	藤田保健衛生大学		
	ボーイスカウト		

お問い合わせ ● 豊明花き流通協同組合内 とよあけ花マルシェプロジェクト係 Tel.0562-96-1199
● 豊明市産業振興課 商工・観光係 Tel.0562-92-8312

TOYOAKE
HANA
MARCHE
2020.07.04

お花と過ごす、素敵な時間。

とよあけ花マルシェ

TOYOAKE HANA MARCHE

エキカツ

駅前 夜カフェ

いつもと違う前後駅で、音楽奏でる素敵な空間 前後駅前活性化事業“エキカツ”

豊明市に賑わいを

市内商工の振興を

市民の活動場を

エキカツとは



豊明市が主催し、駅活実行委員会によって実施される駅前活性化事業です。豊明市の玄関口である前後駅から賑わいを創出し、豊明市全体の賑わい、産業や商工の振興に繋がることを目的としています。

駅活実行委員会とは



豊明市商工会青年部を中心とした有志によって組織された委員会。市内で旅行業を営む委員長を中心に市内外で活躍する30代の集まり。建設業あり、市内老舗の和菓子屋あり、美容師あり、等異業種が各々の特性を活かし豊明市の賑わい創出を目的としています。

駅前 夜カフェとは



駅前で楽しむオープンカフェをイメージしたイベント。光と音でお洒落な空間を演出します。その中で、アルコール販売や軽食の販売を行います。友人や家族、恋人など誰と来ても楽しめます。今回から新たな挑戦として回毎に音楽のテーマを決め、ある時はJazz奏でお洒落な雰囲気、またある時はPopでレトロな雰囲気など回毎違った面白さを体験できます。友人や同僚はもちろん、恋人と一緒に洒落な空間でのひとときを過ごしませんか。



エキカツへの出店・出演希望、その他問い合わせについては下記連絡先にご連絡ください。

豊明市新田町子持松1番地1

問い合わせ先

駅活実行委員会

豊明市役所 産業支援課

TEL / 0562-92-8332

メール / sangyo@city.toyoake.lg.jp

夜 翫 前

音楽奏でる
お洒落な空間で過ごす
大人カフェ

会場／前後駅前広場

入場無料

7

19_木・20_金・21_土

17:00～21:00

8

29_水・30_木・31_金

17:00～21:00

主催／豊明市

実施／駅活実行委員会

TEL／0562-92-8332



駅活実行委員会

検索

※専用駐車場はございません。
お近くのコインパーキングをご活用いただくか、
公共交通機関をご活用ください。
※荒天候の場合はイベントを中止する場合がございます。